

福岡市学習情報提供システム「まなびアイふくおか」

1 概要

市民の学習活動を支援するため、いつでも、どこでも、簡単に生涯学習に関する情報を入手できるように、ホームページ「福岡市学習情報提供システム まなびアイふくおか」(<http://gakushu.city.fukuoka.lg.jp/>)を平成14年度に開設し、公民館や大学、民間事業者等の関連機関・団体と連携しながら、学習情報や人財リストの提供を行っている。

また、ホームページから講座やイベントの情報を抜粋した情報誌「まなびアイふくおか」を年2回発行し、市民センターなど市の施設で配布している。（別添「まなびアイふくおか」情報誌版（第74号）参照）

2 ホームページの主なコンテンツ

(1) 講座・イベント情報

福岡都市圏のさまざまな機関・団体等の講座・イベント等を紹介

(2) 講師・指導者情報

福岡市と外郭団体の6つの人財リスト「福岡市地域人財バンク」を紹介

※福岡市地域人財バンク登録リスト

- ・生涯学習関係講師リスト（市民局）
- ・環境教育・学習人材リスト（環境局）
- ・博多マイスター（経済観光文化局）
- ・福岡市スポーツリーダーバンク（（公財）福岡市スポーツ協会）
- ・アミカス人材情報（市民局）
- ・文化芸術人材情報リスト（（公財）福岡市文化芸術振興財団）

(3) 公民館情報

市内150館の講座・イベントやサークル情報等を発信

(4) さまざまな生涯学習関連機関・団体等のホームページへのリンク

市民センターなど市関連施設、都市圏や近郊の大学、放送大学、ふくおか生涯学習ひろば（福岡県生涯学習情報提供サイト）、など

3 アクセス数

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
アクセス件数	947,094件	908,987件	988,530件

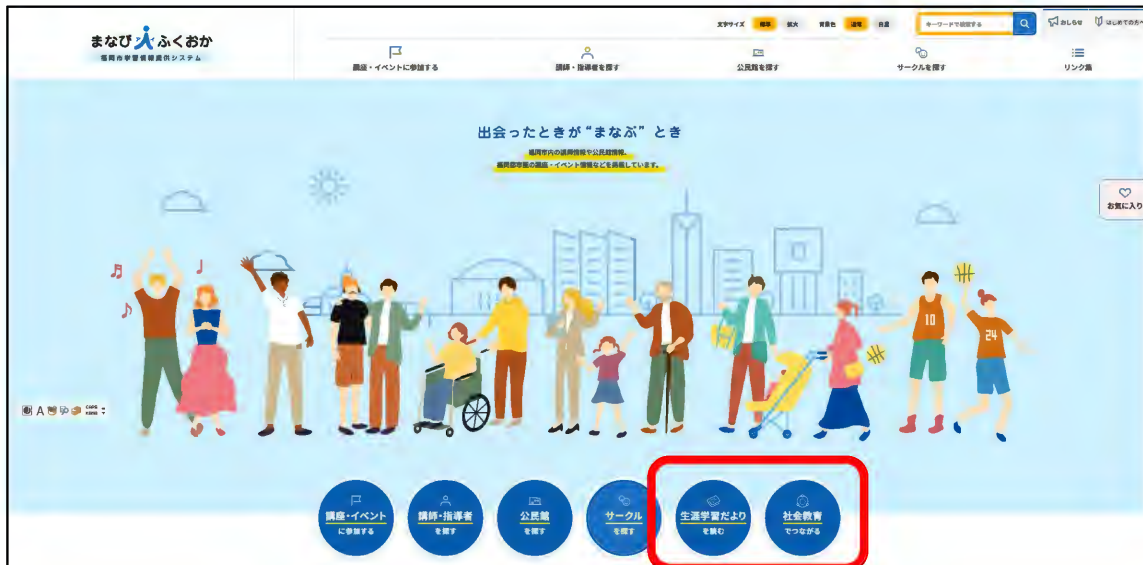
4 市政だよりによる広報

市政だよりに「まなびアイふくおか」ホームページの紹介記事（年1回）、都市圏の大学で行われる市民向け講座の案内記事（年3回）を掲載している。

5 ホームページコンテンツの追加

より多くの市民が関心を持ち、活用していただけるようにするため、ホームページに新たなコンテンツとして「生涯学習だよりを読む」「社会教育でつながる」の欄を令和8年3月に追加した。（下記画像の赤枠囲み部分）

※「まなびアイふくおか」ホームページ トップ画面の2次元コード



【追加コンテンツの内容】

○生涯学習だよりを読む

公民館講座や社会教育関係団体等の活動など、生涯学習や社会教育に関する取り組みを事務局で取材し、記事にして掲載

※掲載タイトル

- ・公民館事業体験記「クリスマスキャンドルナイト」@堤公民館
- ・公民館事業体験記「サークル閉講式&人権学習」@草ヶ江公民館
- ・公民館事業体験記「別府海賊団と伝説の知恵の実／befu 海賊団の謎解き宝探し」@別府公民館
- ・公民館長の「義務教育学びなおし講座」@内浜公民館

○社会教育でつながる

社会教育関係者のつながりづくりに寄与する各種情報を掲載

※掲載タイトル

- ・令和8年度社会教育主事講習（九州大学会場）の申し込みについて（5月11日締め切り）
- ・「福岡市社会教育事業の概要」発行のお知らせ
- ・社会教育士って？

福岡の役立つ講座・イベントが満載

まなび ふくおか

福岡市学習情報提供システム

情報誌版



2026年春・夏号
Vol.74

出会ったときが

“まなぶ”とき

まなびアイふくおか ホームページ
<http://gakushu.city.fukuoka.lg.jp/>



目次	分野	ページ
社会・教養	国際交流・交際理解	1
	語学(英語)	1
	語学(中国語)	3
	語学(韓国語)	4
	語学(その他の言語)	4
	歴史・郷土	5
	自然科学・天体観測	6
	パソコン・IT・科学技術	8
	その他の社会・教養	9
家庭・くらし	育児・家庭教育	12
	健康・医療	12
	ボランティア活動	13
	その他の家庭・くらし	14
芸術・文化	文学・文芸・俳句・短歌・川柳	14
	美術・絵画・書	15
	服飾・手芸・園芸	17
	その他の芸術・文化	17
スポーツ	球技	18
	ランニング・ウォーキング・水泳	18
	体操・トレーニング・ヨガ・エアロビクス	19
	その他のスポーツ	21
子ども・親子向け	学習・体験	21
	スポーツ	22

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
社会・教養				
【国際交流・国際理解】				
第6回アジア文化体験講座 講演とガムランワークショップ パンソリvsガムラン アジアの音楽を座学と実践から学ぶ講座です。第一部の講演会では、アジアの「歌」をテーマに、韓国のパンソリとインドネシアのガムランについて、それぞれの専門家にお話をさせていただきます。第二部のワークショップでは、ガムラン演奏を体験することで、アジア芸術の豊かさを体感します。 第一部 講演 13:00～ 講演1「韓国の芸能ーパンソリに親しむ」 講師：崔 秀蓮（筑紫女学園大学 非常勤講師） 講演2「ガムランの歌」 講師：今泉佳奈（ガムラングループ カルティカ&クスモ 歌い手） 佐々木美奈子（ガムラングループ カルティカ&クスモ 演奏家/桐朋学園大学 講師） 第二部 ワークショップ 15:10～ 指導：今泉佳奈、佐々木美奈子 演奏：ガムラングループPratiwi 協力：筑紫女学園大学ガムラン部	5月30日(土) 13:00～16:00 場所：浄満寺門徒会館（福岡市中央区地行2-3-3）	対象：一般 定員：30人 料金：無料	申込方法：FAX・メール・申込フォームからお申込みください。FAX・メールでのお申込みの場合、次の①～⑤をご記入ください。①講座名②受講日③氏名（ふりがな）④年代⑤FAX番号（FAXでお申込みの方） 申込期間：講座開催日1週間前まで ※定員に達した場合、締切日前に受付を終了することもあります。	筑紫女学園大学 社会連携センター 〒818-0192 太宰府市石坂2-12-1 TEL 092-925-9685 FAX 092-925-9683 E-Mail： gakushu@chikushi-u.ac.jp
クロスオーバーアジア塾2026 〈やさしい日本語〉と〈やさしい韓国語〉 ー多文化共生をめざしてー 日本に住む外国人は、この30年で約4倍に増えました。外国人が日本で安全に安心して暮らすために新たなしくみ作りが求められています。そこでは、日常生活に必要な情報を正しく理解するために、むずかしい言葉を言い換えるなど、相手に配慮した〈やさしい日本語〉は必須です。共通の課題を持つ韓国の〈やさしい韓国語〉と比べながら、共生社会でのコミュニケーションのあり方について考えます。 講師：高山 百合子（筑紫女学園大学 日本語・日本文学科 教授） 安 在珉（筑紫女学園大学 アジア文化学科 講師）	6月27日(土) 13:30～15:00 場所：太宰府市いきいき情報センター（太宰府市五条3-1-1）	対象：一般 定員：30人 料金：無料	申込方法：FAX・メール・申込フォームからお申込みください。FAX・メールでのお申込みの場合、次の①～⑤をご記入ください。①講座名②受講日③氏名（ふりがな）④年代⑤FAX番号（FAXでお申込みの方） 申込期間：講座開催日1週間前まで ※定員に達した場合、締切日前に受付を終了することもあります。	
【語学（英語）】				
英会話 【Intermediate 13:00】 街を歩いていて、さまざまな国から来た人を見かけることはもう珍しくありません。まずは、外国人と話す事に慣れましょう。経験豊富な外国人講師によるレッスンであなた自身の国際化を目指しませんか？ 講師:アンソニー・ディアゴスティノ（Anthony D'Agostino） （福岡工業大学短期大学部非常勤講師）	4月9日・23日、5月7日・21日、6月4日・18日、7月2日・16日、8月6日・20日、9月3日・17日 各木曜日 13:00～14:30 全12回 ※受講レベル：中級者向け ※まずは無料見学(冒頭30分)または1日有料体験(1,000円)をご予約ください。（申込みは希望日の1週間前まで） 場所：福岡工業大学 社会連携センター（本部棟1階） [JR福工大前駅 徒歩5分]	対象：一般市民 定員：15人 料金：20,400円（全12回分） ※FITオープンカレッジは会員制です。（別途：入会事務手数料：2,000円） ※テキストは講師よりご案内	申込方法：福岡工業大学社会連携センターホームページからお申込みください。 https://reserva.be/cccoffice?ctg_no=e2eJwzMjS1NAAAAwQBAG 申込期間：定員になり次第終了 ※お席に空きがありましたら途中入講も可能です。	福岡工業大学 社会連携センター 〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1 TEL 092-606-7089

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
英会話 【Intermediate 15：00】 街を歩いていて、さまざまな国から来た人を見かけることはもう珍しくありません。まずは、外国人と話す事に慣れましょう。経験豊富な外国人講師によるレッスンであなた自身の国際化を目指しませんか？ 講師:アンソニー・ディアゴスティノ（Anthony D'Agostino）（福岡工業大学短期大学部非常勤講師）	4月9日・23日、5月7日・21日、6月4日・18日、7月2日・16日、8月6日・20日、9月3日・17日 各木曜日 15：00～16：30 全12回 ※受講レベル：中級者向け ※まずは無料見学(冒頭30分)または1日有料体験（1,000円）をご予約ください。（申込みは希望日の1週間前まで） 場所：福岡工業大学 社会連携センター (本部棟1階) [JR福工大前駅 徒歩5分]	対象：一般市民 定員：15人 料金：20,400円（全12回分） ※FITオープンカレッジは会員制です。（別途：入会事務手数料：2,000円） ※テキストは講師よりご案内	申込方法：福岡工業大学社会連携センターホームページからお申込みください。 https://reserva.be/cccoffice?ctg_no=e2eJwzMjS1NAAAAwQBAG 申込期間：定員になり次第終了 ※お席に空きがありましたら途中入講も可能です。	福岡工業大学 社会連携センター 〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1 TEL 092-606-7089
【前期（春・夏期）】 もう1度!やり直し英会話 【春期】4月13日～ 初心者より少しレベルアップした、英語をやり直したい方のための講座です。今期から新しいテキストを使いながら日常生活や旅行、趣味など様々な英語表現を学びます。リスニング練習を中心に、もう一度楽しく英語を学びましょう。 【夏期】7月6日～ 引き続き、初心者より少しレベルアップした、英語をやり直したい方のための講座です。テキストを使いながら日常生活や旅行、趣味など様々な英語表現を学びます。リスニング練習を中心に、もう一度楽しく英語を学びましょう。 講師：小野寺 Gary(地域・国際交流センター（生涯学習）講師)	【春期】4月13日～6月15日(5月4日除く) 全9回 【夏期】7月6日～9月7日(7月20日、8月10日除く) 各月曜日 13：30～15：00 全8回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象：一般市民 料金： 【春期】15,300円（全9回分） 【夏期】13,600円（全8回分） 【春期+夏期】28,900円 【テキスト代】3,000円程度 ※1回のお支払いにつき事務手数料500円かかります（複数講座お申込可）	申込方法：HPお申し込みフォームまたはお電話にてお申し込みください。 FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付けます。また、講座途中からも受講していただけます。 ※見学もお受け致します。お電話にてお申し込みください。 ※【春期】のみ、【夏期】のみの受講もできます。ご希望の場合は、講座申込フォームの備考欄にその旨ご記入ください。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター (生涯学習) 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail：shogai@fukujo.ac.jp
【前期（春・夏期）】 映画で学ぶ スタイリッシュ会話術 【春期】4/16～ 映画は生きた英語の宝庫です。本講座では『イン・ハー・シューズ』(In Her Shoes/ 2005年・米国)を題材に、物語の前半を中心に、映画の場面からお洒落で小粋な言い回しを学びます。日本語字幕では気づきにくい台詞のニュアンスや面白さを味わいましょう。 【夏期】7/2～ 映画は生きた英語の宝庫です。本講座では『イン・ハー・シューズ』(In Her Shoes/ 2005年・米国)を題材に、春期に続き、物語後半部分を中心に学びます。今期は登場人物の心情や関係の変化にも注目しながら、台詞のニュアンスや面白さを味わっていきましょう。 講師：中島千春（福岡女学院大学 国際キャリア学科 教授）	【春期】4月16日、5月7日・21日、6月4日・18日 全5回 【夏期】7月2日・16日、8月20日、9月3日・17日 全5回 いずれも木曜日 10：30～12：00 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象：一般市民 料金【春期】8,500円（全5回分） 【夏期】8,500円（全5回分） 【春期+夏期】17,000円（全10回分） 教材費： 【春期】100円 【夏期】100円 【春期+夏期】200円 ※1回のお支払いにつき事務手数料500円かかります（複数講座お申込可）。	申込方法：HPお申し込みフォームまたはお電話にてお申し込みください。 FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記入して問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付けます。 ※【春期】のみ、【夏期】のみの受講もできます。ご希望の場合は、講座申込フォームの備考欄にその旨ご記入ください。	

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
【前期（春・夏期）】 映画で学ばやさしい英会話 〈超初心者向け〉 【春期】 4月23日～ 英語（会話）が初めての方や、久しぶりに学び直したい方のための講座です。映画の名シーンを題材に、日本語での丁寧な解説を通して基本的な会話表現を学びます。台詞を声に出して練習し、楽しみながら「使える表現」を身につけていきます。 【夏期】 7月9日～ 英語（会話）が初めての方や、久しぶりに学び直したい方のための講座です。引き続き、映画の名シーンを題材に、日本語での丁寧な解説を通して基本的な会話表現を学びます。台詞を声に出して練習し、楽しみながら「使える表現」を身につけていきます。 講師：中島千春（福岡女学院大学 国際キャリア学科 教授）	【春期】 4月23日、5月14日・28日、6月11日、25日 全5回 【夏期】 7月9日・23日、8月27日、9月10日・24日 いずれも第2・4木曜日 10：30～12：00 全5回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象：一般市民 料金： 【春期】 8,500円（全5回分） 【夏期】 8,500円（全5回分） 【春期+夏期】 17,000円（全10回） 教材費： 【春期】 100円 【夏期】 100円 【春期+夏期】 200円 ※1回のお支払いにつき事務手数料500円かかります（複数講座お申込可）。	申込方法：HPお申し込みフォームまたはお電話にてお申し込みください。FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記入して問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付けます。 ※【春期】のみ、【夏期】のみの受講もできます。ご希望の場合は、講座申込フォームの備考欄にその旨ご記入ください。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター （生涯学習） 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail：shogai@fukujo.ac.jp
【公開講座】 ③Daily Topics in English ～身近な話題を英語でlet's talk! ～ 西南コミュニティカレッジ（2026年前期） さまざまなテーマについて英語で話し合っ、講座の仲間と一緒に語彙力や会話力を高めませんか。ご自身の「推し」について熱く語って、皆さんに知ってもらうのも楽しいですよ。Share your recommends!	5月11日～6月8日 14：00～15：30 毎週月曜日 全5回 場所：西南コミュニティセンター（西南学院大学内）	対象：一般 定員：24人 ※毎回、講師による解説の後、全体でディスカッションをおこないます。基本的に講義は英語で行いますが、分からないところがあれば日本語でも対応いたします。 ※英検2級以上あるいは同程度の英語力が望ましいです。 料金：5,000円（全5回分）	申込方法：ホームページ「お申込フォーム」からお申し込みください。 https://www.seinangu.ac.jp/education_study/lifelong_learning/extension.html ※E-mail、ハガキ、お電話でのお受付はいたしておりません。 申込期間：4月1日(水)～4月20日(月)	学校法人西南学院 社会連携課（西南コミュニティカレッジ事務局） 〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92 TEL 092-823-3952 FAX 092-823-3374 E-Mail：sw-ext@seinangu.ac.jp
【語学（中国語）】				
中国語講座 このクラスでは、中国語の音読、語彙の使い方、文の表現を習得し、リスニング力、会話力、書く力を高めることを目標とします。楽しく学びながら、着実に中国語の力を身につけていきましょう！ 受講レベル：中国語の学習経験のある方 講師:青山 祐子（AOYAMA Yuko） （専門学校非常勤講師、通訳・翻訳業）	4月6日・13日・27日、5月11日・18日・25日、6月1日・8日・15日・22日、7月6日・13日・27日、8月3日・24日・31日、9月7日・14日 各月曜日 10：00～11：30 全18回 ※受講レベル：中級者向け ※まずは無料見学(冒頭30分)または1日有料体験（1,000円）をご予約ください。（申込みは希望日の1週間前まで） 場所：福岡工業大学 社会連携センター (本部棟1階) [JR福工大前駅 徒歩5分]	対象：一般市民 定員：12人 料金：30,600円（全18回分） ※FITオープンカレッジは会員制です。(別途：入会事務手数料：2,000円) ※テキストは講師よりご案内	申込方法：福岡工業大学社会連携センターホームページからお申込みください。 https://reserva.be/ccccoffice?ctg_no=e2eJwzMjS1NAAAAwQBAG 申込期間：定員になり次第終了 ※お席に空きがありましたら途中入講も可能です。	福岡工業大学 社会連携センター 〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1 TEL 092-606-7089

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
【語学（韓国語）】				
韓国語講座 【水曜日15：15】 韓国の人々が日常生活でよく使う語彙や表現を学び、受講生同士で会話を楽しみながら韓国語の会話を向上させることを目指します。 講師:金 智淑（KIM Jisook）（ LoveFM DJ、筑紫女学園大学非常勤講師、西南学院大学非常勤講師）	4月1日・15日、5月13日・20日、6月3日・17日、7月1日・15日、8月5日・26日、9月2日・16日 各水曜日 15：15～16：45 全12回 ※受講レベル：中級者向け ※まずは無料見学(冒頭30分)または1日有料体験(1,000円)をご予約ください。(申込みは希望日の1週間前まで) 場所：福岡工業大学 社会連携センター(本部棟1階) [JR福工大前駅 徒歩5分]	対象：一般市民。韓国語の読み書きや簡単な会話ができる方 定員：14人 料金：20,400円（全12回分） ※FITオープンカレッジは会員制です。(別途：入会事務手数料：2,000円) ※テキストは講師よりご案内	申込方法：福岡工業大学社会連携センターホームページからお申込みください。 https://reserva.be/ccccoffice?ctg_no=e2eJwzMjS1NAAAAwQBAG 申込期間：定員になり次第終了 ※お席に空きがありましたら途中入講も可能です。	福岡工業大学 社会連携センター
韓国語講座 【月曜日11：40】 日常会話、文型や文法をアップグレードし、テーマに合う様々な日常会話を身につけることを目指し、コミュニケーション能力を高めていきます。 受講レベル：基本文型や文法が理解できて日常会話ができる方 講師:慎 順花（SHIN Soonhwa）（ 筑紫女学園大学非常勤講師、福岡ハングル学校講師）	4月6日・13日・20日・27日、5月11日・18日・25日、6月1日・8日・15日・22日・29日、7月6日・13日・27日、8月10日・24日・31日、9月7日・14日 各月曜日 11：40～13：10 全20回 ※受講レベル：中級者向け ※まずは無料見学(冒頭30分)または1日有料体験(1,000円)をご予約ください。(申込みは希望日の1週間前まで) 場所：福岡工業大学 社会連携センター(本部棟1階) [JR福工大前駅 徒歩5分]	対象：一般市民 定員：12人 料金：28,000円（全20回） ※FITオープンカレッジは会員制です。(別途：入会事務手数料：2,000円) ※テキストは講師よりご案内	申込方法：福岡工業大学社会連携センターホームページからお申込みください。 https://reserva.be/ccccoffice?ctg_no=e2eJwzMjS1NAAAAwQBAG 申込期間：定員になり次第終了 ※お席に空きがありましたら途中入講も可能です。	〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1 TEL 092-606-7089
【語学（その他の言語）】				
【前期】 文化を楽しみながら フランス語入門 ※Zoomによるオンライン講座 フランスの季節や文化といっしょに学ぶ、完全初心者（A0～A1）向けのフランス語講座です。 やさしい言葉を使い、日常の場面を通して、少しずつフランス語を話していきます。 話して、聞いて、くり返して学ぶ、ストレスのないクラスです。 講 師：Jean-Marc PORTALES(久留米大学 非常勤講師)	5月20日～6月17日 毎週水曜日 10：00～11：30 全5回 ※準備いただくもの：カメラ マイク内蔵の通信機器（パソコン/タブレット/スマートフォンなど）および 通信環境	対象：一般市民 料金：8,500円（全5回） ※1回のお支払いにつき事務手数料500円かかります（複数講座お申込可）。	申込方法：HPお申し込みフォームまたは電話でお申し込みください。 FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間:先着順で随時受け付けます。また、講座途中からも受講していただけます。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター(生涯学習) 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail： shogai@fukujo.ac.jp
【公開講座】 ⑧「ことばと文化」フランス語編 西南コミュニティーカレッジ(2026年前期) 「ことばと文化」シリーズ第1弾はフランス編です。フランス文化を知らずに、フランス語を一言も話せずにフランスに行くと少し残念かも。なぜなら知的喜びの少ない旅になりそうだからです。文化とことばの両方に必要なだけの情報を手にしてフランスに行ってみませんか。あるいは日本にいるフランス人と話してみませんか。やり取りのなかで楽しさが生まれる、そういう意図をもってスピーキング・リスニングを中心に講座を組み立てました。多くの方の受講をお待ちしています。	6月17日～ 7月15日 毎週水曜日 18：30～20：00 全5回 場所：西南コミュニティーセンター（西南学院大学内）	対象：一般 定員：16人 ＊フランス文化に興味がある、フランス語を少し話したい、日常生活にフランスを取り入れたいと思う方を主な対象と考えています。 料金：5,000円（全5回分）	申込方法：ホームページ「お申込フォーム」からお申し込みください。 https://www.seinan-gu.ac.jp/education_study/lifelong_learning/extension.html ※E-mail、ハガキ、お電話でのお受付はいたしておりません。 申込期間：4月1日(水)～5月27日(水)	学校法人西南学院 社会連携課（西南コミュニティーカレッジ事務局） 〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92 TEL 092-823-3374 FAX 092-823-3172 E-Mail：sw-ext@seinan-gu.ac.jp

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
【前期】 やさしくて楽しい フランス語の詩 ※Zoomによるオンライン講座 フランス語の詩を、楽しくやさしく体験するワークショップ。デスノス、プレヴェール、エリュアール、ヴィクトル・ユーゴー、クノーの短い詩を読み聞きし、ことば・声・リズムに親しみます。リラックスした雰囲気で行う、A2レベル向けの講座です。 講 師：Jean-Marc PORTALES(久留米大学 非常勤講師)	6月24日～7月22日 毎週水曜日 10：00～11：30 全 5回 ※準備いただくもの：カメラ マイク内蔵の通信機器（パソコン/タブレット/スマートフォンなど） および 通信環境	対象：一般市民 料金：8,500円 （全5回分） ※1回のお支払いにつき事務手数料500円がかかります（複数講座お申込可）。	申込方法：HPお申し込みフォームまたは電話でお申し込みください。FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付けます。また、講座途中からも受講していただけます。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター (生涯学習) 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail： shogai@fukujo.ac.jp
【歴史・郷土】				
【前期】 激動の時代をたどる ～近代の世界と日本を読み解く～ 私たちが今生きている日本と世界の現在は、どのようにしてできあがったのでしょうか。市民革命や明治維新以降の時代に焦点をあて、教科書(「歴史総合」)のバリエーション豊かな資料を読みとぎながら出来事背景や意義を一緒に考え、学んでいきましょう。 講師：津留崎 聡史 (元福岡女学院中学・高等学校教諭)	4月14日・28日、5月12日・26日、6月9日・23日、7月14日 各木曜日 10：30～12：00 全7回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象：一般市民 定員：30人 料金：11,900円 （全7回分） テキスト代：788円 ※1回のお支払いにつき事務手数料500円がかかります（複数講座お申込可）。	申込方法：電話でお問い合わせください。Eメールの方は、氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付け ※講座途中からも受講していただけます。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター (生涯学習) 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail： shogai@fukujo.ac.jp
【前期】 知っているようで知らなかった日本史 ～高校教科書から再発見～ 高校教科書をテキストとして、あらためて日本史を学びなおしてみませんか。歴史を考察するための問いかけを多数ご用意しております。一緒に考えていきましょう。教科書の内容もかなり変わってきています。そのあたりもご紹介していければと考えております。 講師：山田 慎一 (元福岡女学院中学・高等学校教諭)	4月23日、5月14日・28日、6月11日・25日、7月9日 各木曜日 10：30～12：00 全6回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象：一般市民 定員：30人 料金：10,200円 （全6回分） テキスト代：914円 ※1回のお支払いにつき事務手数料500円がかかります（複数講座お申込可）。	申込方法：電話でお問い合わせください。Eメールの方は、氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付け ※講座途中からも受講していただけます。	
【前期】 古代エジプトを学ぼう！ ※対面またはZoomによるオンライン講座 エジプトの見どころであるギザ、ルクソール、アブ・シンベル等を地図と写真で整理し紹介します。あわせて神々・王朝史・象形文字の基本も学びます。旅を予定している方にも、文明理解の入門としても最適です。 講師：野中 亜紀 (福岡女学院大学 子ども発達学科 講師)	4月23日、5月14日・28日、6月11日・25日、7月9日 各木曜日 13：30～15：00 全6回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象：一般市民 定員：30人 料金：10,200円 （全6回分） 教材費：500円 ※1回のお支払いにつき事務手数料500円がかかります（複数講座お申込可）。	申込方法：電話でお問い合わせください。Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付け ※講座途中からも受講していただけます。 またはオンライン ※準備いただくもの（オンライン受講の方）：カメラマイク内蔵の通信機器（パソコン/タブレット/スマートフォンなど） および 通信環境	

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
【前期】 奈良時代の本に書かれた九州 ② ～肥前国風土記、豊後国風土記を読む～ 2025年度後期の講座では、奈良時代の文献、『古事記』『日本書紀』などに見られる九州の記述を福岡県を中心に読みました。今回は、その継続・発展として、現代に伝わる五つの『風土記』の中の「肥前国」と「豊後国」を読んでいきます。 講師：渡邊 寛吾（福岡女学院大学 現代文化学科 准教授）	5月18日～6月15日 毎週月曜日 13：30～15：00 全5回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象： 一般市民 料金：8,500円（全5回） ※1回のお支払いにつき事務手数料500円がかかります（複数講座お申込可）。	申込方法：HPお申し込みフォームまたは電話でお申し込みください。FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付けます。また、講座途中からも受講していただけます。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター （生涯学習） 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail： shogai@fukujo.ac.jp
【自然科学・天体観測】				
星空教室（春） 「春の大曲線」から星座をさがそう！ ～春の星座～ 季節のおもな星や星座のさがし方、星座早見の使い方をわかりやすく紹介します。また、プラネタリウムで星座さがしを体験することができます。	①4月19日（日） ②4月26日（日） 11：00～12：30 場所：福岡県青少年科学館	対象：小学生以上 定員：30人（幼児の同席可） 料金：100円 （現金のみ） ※料金の他に入館料が必要です。	オンラインにて先着順に受付 https://fukuoka-pref-kagakukan.com 申込開始：①3月19日（木）9：30 ②3月26日（木）9：30	福岡県青少年科学館 〒830-0003 久留米市東櫛原町1713 TEL 0942-37-5566 FAX 0942-37-3770 E-Mail： mail@science.pref.fukuoka.jp
市民天体観望会【4月25日】 木星と春の二重星をたのしもう プラネタリウムでの星座解説の後、4階天体観測広場と5階天体観測室で、天体望遠鏡を使った星の観察を行います。 （天候不良時は、星座解説とワークショップを実施予定です。）	4月25日（土） 20：00～21：00 ※開場は、開始時刻の10分前 場所：福岡県青少年科学館	対象：制限なし（ただし、中学生以下は保護者同伴） 定員：100人 料金：無料	オンラインにて先着順に受付 https://fukuoka-pref-kagakukan.com 申込開始：4月11日（土）9：30	
科学のお話ひろば 科学の専門員が紹介する、身近にある科学の「ちょっとしたお話」を聞くことができます。	4月29日（水・祝） 7月20日（月・祝） 8月11日（火・祝） 各日①11：45～ ②14：45～ ※所要時間20分程度 ※開始1時間前から整理券配布（先着順） 場所：福岡県青少年科学館	対象：制限なし 定員：各回8組ずつ（ただし、1組4人まで） 料金：無料 ※ただし、入館料が必要です。	開始時間の1時間前から2階実験室前で整理券を配布	
スプリングサイエンスフェア 特別企画「逃げ出した恐竜を探せ」、科学工作教室「お絵かき万華鏡」、「星空ランプシェード」、サイエンスショーなど、ワクワクが止まらない特別な5日間。	5月2日（土）～6日（水・振休） 9：30～17：00 場所：福岡県青少年科学館	対象：制限なし ※工作は定員に達し次第、終了となります。 料金：無料 ※ただし、入館料のみ必要 ※工作は別途料金がかかります。詳しくはHPをご覧ください。	申し込みなくお楽しみいただけます。	
市民天体観望会【5月23日】 春の星座探しと上弦の月をたのしもう プラネタリウムでの星座解説の後、4階天体観測広場と5階天体観測室で、天体望遠鏡を使った星の観察を行います。 （天候不良時は、星座解説とワークショップを実施予定です。）	5月23日（土） 20：00～21：00 場所：福岡県青少年科学館	対象：制限なし（ただし、中学生以下は保護者同伴） 定員：100人 料金：無料	オンラインにて先着順に受付 https://fukuoka-pref-kagakukan.com 申込開始：5月9日（土）9：30	

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
サイエンス教室 顕微鏡体験教室【生物】 顕微鏡の操作の仕方やプレパラート作りを学び、身の回りの生物や肉眼では見えない生物など、顕微鏡を使って観察します。	5月24日（日） ①10：00～12：00 ②13：30～15：30 場所：福岡県青少年科学館	対象：小学1年生～中学生 ※小学1～3年生は保護者同伴 定員：各12人 料金 500円（現金のみ） ※料金の他に入館料が必要です。	オンラインにて先着順に受付。 https://fukuoka-pref-kagakukan.com 申込開始：4月24日（金）9：30	福岡県青少年科学館 〒830-0003 久留米市東櫛原町1713 TEL 0942-37-5566 FAX 0942-37-3770 E-Mail : mail@science.pref.fukuoka.jp
星空教室（夏） 「夏の大三角」から星座をさがそう！～夏の星座～ 季節のおもな星や星座のさがし方、星座早見の使い方をわかりやすく紹介します。また、プラネタリウムで星座さがしを体験することができます。	①6月21日（日） ②6月28日（日） 11：00～12：30 場所：福岡県青少年科学館	対象：小学生以上 定員：30人（幼児の同席可） 料金 100円（現金のみ） ※料金の他に入館料が必要です。	オンラインにて先着順に受付 https://fukuoka-pref-kagakukan.com 申込開始：①5月21日（木）9：30 ②5月28日（木）9：30	
市民天体観望会【7月18日】 春夏の星座探しと二重星をたのしもう プラネタリウムでの星座解説の後、4階天体観測広場と5階天体観測室で、天体望遠鏡を使った星の観察を行います。 （天候不良時は、星座解説とワークショップを実施予定です。）	7月18日（土） 20：00～21：00 ※開場は、開始時刻の10分前 場所：福岡県青少年科学館	対象：制限なし ※中学生以下は保護者同伴 定員：100人 料金：無料	オンラインにて先着順に受付 https://fukuoka-pref-kagakukan.com 申込開始：7月4日（土）9：30	
市民天体観望会【8月8日】 天上の宝石「アルビレオ」と夏の星座をたのしもう プラネタリウムでの星座解説の後、4階天体観測広場と5階天体観測室で、天体望遠鏡を使った星の観察を行います。 （天候不良時は、星座解説とワークショップを実施予定です。）	8月8日（土） 20：00～21：00 ※開場は、開始時刻の10分前 場所：福岡県青少年科学館	対象：制限なし ※ただし、中学生以下は保護者同伴 定員：100人 料金：無料	オンラインにて先着順に受付 https://fukuoka-pref-kagakukan.com 申込開始：7月25日（土）9：30	
市民天体観望会【8月22日】 天上の宝石「アルビレオ」と夏の星座をたのしもう プラネタリウムでの星座解説の後、4階天体観測広場と5階天体観測室で、天体望遠鏡を使った星の観察を行います。 （天候不良時は、星座解説とワークショップを実施予定です。）	8月22日（土） 20：00～21：00 ※開場は、開始時刻の10分前 場所：福岡県青少年科学館	対象：制限なし ※ただし、中学生以下は保護者同伴 定員：100人 料金：無料	オンラインにて先着順に受付 https://fukuoka-pref-kagakukan.com 申込開始：8月8日（土）9：30	
市民天体観望会【9月19日】 月のクレーターと夏の星座をたのしもう プラネタリウムでの星座解説の後、4階天体観測広場と5階天体観測室で、天体望遠鏡を使った星の観察を行います。 （天候不良時は、星座解説とワークショップを実施予定です。）	9月19日（土） 19：30～20：30 ※開場は、開始時刻の10分前 場所：福岡県青少年科学館	対象：制限なし ※ただし、中学生以下は保護者同伴 定員：100人 料金：無料	オンラインにて先着順に受付 https://fukuoka-pref-kagakukan.com 申込開始：9月5日（土）9：30	

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
【パソコン・IT・科学技術】				
【前期】 暮らしと学びに活かすAI講座 この講座では、ChatGPTなどのAIを使って、日常生活や各自の関心・目標をサポートする方法を紹介します。英語表現の修正や翻訳、調べものや学習、趣味など、日常のさまざまな場面でAIを活用する方法を体験的に学びます。 講師：Gregory O' keefe （福岡女学院大学 国際キャリア学課 准教授）	5月13日～7月15日 毎週 水曜日 13：30～15：00 全10回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車） ※お持ちいただくもの：ノートパソコンやタブレットの使用を推奨（スマートフォンでも可）	対象：一般市民 料金：17,000円 ※1回(複数講座お申込可)のお申し込みにつき事務手数料500円別途要	申込方法：HPお申し込みフォームまたはお電話にてお申し込みください。FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記入して問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付けます。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター（生涯学習） 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail： shogai@fukujo.ac.jp
ものづくり工房 メカホッパー（初級） 太陽光発電について学び、そのしくみを利用した太陽電池で動くバッタ型ロボットをつくります。	5月16日（土） ①10：00～11：30 ②13：00～14：30 場所：福岡県青少年科学館	対象：小学1年生～中学生 ※小学生は保護者同伴 定員：各回22人 料金：1,600円（現金のみ） ※料金の他に入館料が必要です。	オンラインにて先着順に受付。 https://fukuoka-pref-kagakukan.com 申込開始：4月16日（木）9：30	福岡県青少年科学館 〒830-0003 久留米市東櫛原町1713 TEL 0942-37-5566 FAX 0942-37-3770 E-Mail： mail@science.pref.fukuoka.jp
【公開講座】 ①テクノロジーと私たちの生活 西南コミュニティーカレッジ（2026年度前期） 近年、AIやICTなどのテクノロジーは目覚ましい発展をとげています。日々、進化していくテクノロジーによって私たちの生活はどのように変化しているのでしょうか。また、私たちはテクノロジーとどのように付き合っていくべきなのでしょうか。本講座では、流通、金融、会計学、統計学、マーケティングなどの様々な領域から、テクノロジーと私たちの生活との関連について講演いたします。	5月22日～6月19日 毎週金曜日 18：30～20：00 全5回 場所：西南コミュニティーセンター（西南学院大学内）	対象：一般 定員：100人 料金：4,000円（全5回分）	申込方法：ホームページ「お申込フォーム」からお申し込みください。 https://www.seinangu.ac.jp/education_study/lifelong_learning/extension.html ※E-mail、ハガキ、お電話でのお受付はいたしていません。 申込期間：～5月1日(金)	学校法人西南学院 社会連携課（西南コミュニティーカレッジ事務局） 〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92 TEL 092-823-3374 FAX 092-823-3172 E-Mail：sw-ext@seinangu.ac.jp
【前期】 デジタルウェルビーイング ー便利な工夫で豊かな暮らしー ネットサービスを知り、生成AIを使ってみることで、暮らしに新しい変化が生まれます。デジタルは決して「恐いもの」ではありません。年代別にICTリテラシーの向上が求められる今、スマートフォンやパソコン、AIなどのテクノロジーを正しく理解し、楽しく取り入れて、豊かな暮らしを始めましょう！※前回とは内容が異なるため、継続しての受講も可能です。 講師：田代 勢（福岡女学院大学 メディア情報課 課長 他） 他	6月12日～26日 毎週金曜日 15：30～17：00 全3回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象：一般市民 料金：5,100円 教材費：300円 ※1回のお支払いにつき事務手数料500円かかります（複数講座お申込可）。	申込方法：HPお申し込みフォームまたはお電話にてお申し込みください。FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記入して問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付けます。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター（生涯学習） 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail： shogai@fukujo.ac.jp
プログラミング教室Ⅰ ライトレース 子どもと保護者の2人1組で教育用プログラミングロボットの光センサーを用いた制御について考え学ぶことができます。	①6月20日（土） ②6月21日（日） 各日 10：00～12：00 13：30～15：30 場所：福岡県青少年科学館	対象：小学3年生～中学生 ※子ども1名につき保護者1名が必ず同伴 定員：各回10人 料金：300円（現金のみ） ※料金の他に入館料が必要です。	オンラインにて先着順に受付。 https://fukuoka-pref-kagakukan.com 申込開始：①5月20日（水）9：30 ②5月21日（木）9：30	福岡県青少年科学館 〒830-0003 久留米市東櫛原町1713 TEL 0942-37-5566 FAX 0942-37-3770 E-Mail： mail@science.pref.fukuoka.jp

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
ものづくり工房 しおまる（中級） 化学反応で電気をつくる燃料電池について学び、背中にのせたタンクに塩水を注入するとトコトコとボディをゆらしながら歩き出すロボットをつくります。	6月27日（土） ①10：00～12：30 ②13：30～16：00 場所：福岡県青少年科学館	対象：小学3年生～中学生 ※小学生は保護者同伴 定員：各回22人 料金：2,400円（現金のみ） ※料金の他に入館料が必要です。	オンラインにて先着順に受付。 https://fukuoka-pref-kagakukan.com 申込開始：5月27日（水）9：30	福岡県青少年科学館 〒830-0003 久留米市東櫛原町1713 TEL 0942-37-5566 FAX 0942-37-3770 E-Mail : mail@science.pref.fukuoka.jp
3Dプリンター体験 モデリングソフトを使用して、イニシャルプレートに3Dプリンターで出力します。	9月21日（月・祝）～ 9月23日（水・祝） 各日 ①10：00～10：30 ②11：30～12：00 ③13：00～13：30 ④14：30～15：00 ※開始10分前から受付開始 ※所要時間30分程度 場所：福岡県青少年科学館	対象：制限なし 定員：各回4人ずつ 料金：300円（現金のみ） ※料金の他に入館料が必要です。	当日先着順で申込	
【その他の社会・教養】				
【前期】 聖書の世界「世界のベストセラーを読んでいる」 ※対面またはZoomによるオンライン講座 聖書は人類史上最も読まれている書物です（推定発行累計部数60億部以上）。多くの人に影響を与えた聖書には、一体どんなことが書いてあるのでしょうか。前期には聖書の前半部、旧約聖書を一緒に読んでみようと思います。 講師：奥園 淳(日本基督教団 赤間教会 牧師)	4月14日、5月19日、6月9日、7月14日 各火曜日 13：30～15：00 全4回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車） またはオンライン ※準備いただくもの(オンライン受講の方)：カメラマイク内蔵の通信機器（パソコン/タブレット/スマートフォンなど） および 通信環境	対象：一般市民 料金：6,800円（全4回分） 教材費：200円 ※1回のお支払いにつき事務手数料500円がかかります（複数講座お申込可）。	申込方法：電話でお問い合わせください。Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付けます。 ※講座途中から受講していただけます。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター（生涯学習） 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail : shogai@fukujo.ac.jp
【前期】 カズオ・イシグロの小説『日の名残り』を読む ノーベル賞作家カズオ・イシグロのThe Remains of the Day のいくつかの場面を英文で読みます。講師が英文の内容を解説しますので、初心者の方でも大丈夫です。イギリスに帰化したイシグロが描いたイギリスの伝統的な執事の世界を楽しみましょう。 講師：浅田 雅明(福岡女学院短期大学部 名誉教授)	4月21日、5月19日、6月2日・16日、7月7日・21日 各火曜日 13：30～15：00 全6回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象：一般市民 定員 20人 料金：10,200円（全6回分） 教材費：300円 ※1回のお支払いにつき事務手数料500円がかかります（複数講座お申込可）。	申込方法：電話でお問い合わせください。Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付けます。 ※講座途中から受講していただけます。	

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
【前期】 コミュニケーション向上力 コミュニケーションを向上させる力をつけます。受講者の皆さんの個性に合わせたタイプ別向上トレーニングを行い、グループワークで練習します。今回が初めての方も基本から学べ、人間関係の改善によりストレスのない毎日を目指します。素敵な出会いにも活かせます。継続受講の方も、新しいトピックで学びを深められます。 講師：西田 敬子（福岡女学院大学 教職支援センター／NPO 法人 未来創造ハビネス 理事長）	5月7日・21日、6月4日・18日、7月2日 各木曜日 10：30～12：00 全5回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象：一般市民 料金：8,500円（全5回分） 教材費：200円 ※1回のお支払いにつき事務手数料500円かかります（複数講座お申込可）。	申込方法：HPお申し込みフォームまたはお電話にてお申し込みください。FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記入して問い合わせ先に申し込んでください。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター（生涯学習） 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail：shogai@fukujo.ac.jp
【公開講座】 ②キリスト教文化に出会う 西南コミュニティカレッジ(2026年前期) キリスト教は、古代・中世から現代に至るまで、様々な地域に広がり、その文化は他者との出会いを経て、多様に展開してきました。本講座では、様々な時代や地域のキリスト教文化について研究する講師たちが、「出会い」をキーワードに、それぞれの時代や地域におけるキリスト教文化の多様な広がりについて紹介し、その新たな側面に出会う旅へと誘います。	5月19日～ 6月16日 毎週火曜日 18：30～20：00 全5回 場所：西南コミュニティセンター（西南学院大学内）	対象：一般 定員：100人 料金：4,000円（全5回分）	申込方法：ホームページ「お申込フォーム」からお申込ください。 https://www.seinangu.ac.jp/education_study/lifelong_learning/extension.html ※E-mail、ハガキ、お電話でのお受付はいたしていません。 申込期間：～4月28日(火)	学校法人西南学院 社会連携課（西南コミュニティカレッジ事務局） 〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92 TEL 092-823-3374 FAX 092-823-3172 E-Mail：sw-ext@seinangu.ac.jp
【前期】 楽する日本語 ことばの変化のひとつに、音の弱化（じゃっか）があります。この弱化をテーマにして、いくつかの日本語の変化を扱います。発音していない母音がある？「は」は、昔は「バ」？講座では、実際に自分の口を観察して、その変化を実感してもらいながら進めます。 講師：門屋 飛央（福岡女学院大学 現代文化学科 准教授）	5月20日、6月3日・17日、7月1日・15日 各水曜日 13：30～15：00 全5回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象：一般市民 料金：8,500円（全5回分） 教材費：200円 ※1回のお支払いにつき事務手数料500円かかります（複数講座お申込可）。	申込方法：HPお申し込みフォームまたはお電話にてお申し込みください。FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。申し込み期間：先着順で随時受け付けます。※講座途中からも受講していただけます。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター（生涯学習） 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail：shogai@fukujo.ac.jp
【公開講座】 ⑤次世代に伝えたい 日本のしきたりと和食文化 西南コミュニティカレッジ（2026年前期） 危機管理や宗教的背景で生まれた西洋のマナーと違い、日本のしきたりには、命の尊さや自然への感謝などの祈りや願いが込められています。結婚祝いを奇数の金額にしたり、お正月にお雑煮を食べたりなど普段何気なく行なっている行為も、その由来や背景を知ると、和を大切にしてきた日本人の心を知ることができます。またユネスコの世界文化遺産に認定された和食文化についても、私たちはどれほど理解しているでしょうか。国際交流の時代だからこそ、改めて日本文化を一度学んでみませんか。	5月20日～ 6月17日 毎週水曜日 14：00～15：30 全5回 場所：西南コミュニティセンター（西南学院大学内）	対象：一般 定員：24人 料金：5,000円（全5回分）	申込方法：ホームページ「お申込フォーム」からお申し込みください。 https://www.seinangu.ac.jp/education_study/lifelong_learning/extension.html ※E-mail、ハガキ、お電話でのお受付はいたしていません。 申込期間：～4月29日(水)	学校法人西南学院 社会連携課（西南コミュニティカレッジ事務局） 〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92 TEL 092-823-3374 FAX 092-823-3172 E-Mail：sw-ext@seinangu.ac.jp

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
【公開講座】 ⑥遠藤周作 ― 文化、時代、信仰を超えた作家との出会い 西南コミュニティカレッジ（2026年前期） 2026年は遠藤周作が亡くなってからちょうど30年となります。没後30年を迎えるにあたって、遠藤周作の作品は現在どう読まれていますでしょうか。新たな解釈は可能でしょうか。日本の作家として、世界でどう翻訳されていますでしょうか。「遠藤周作 ― 文化、時代、信仰を超えた作家との出会い」の講座では留学時代の日記から代表作品と評価されている「沈黙」まで作者の様々な「姿」を再発見して、遠藤周作の言葉は私たち、グローバル時代の読者にどのようなメッセージを送ってくれるのか、と一緒に考えましょう。	5月21日～6月11日 毎週木曜日 18：30～20：00 全4回 場所：西南コミュニティセンター（西南学院大学内）	対象：一般 定員：24人 料金：4,000円（全4回分）	申込方法：ホームページ「お申込フォーム」からお申し込みください。 https://www.seinan-gu.ac.jp/education_study/lifelong_learning/extension.html ※E-mail、ハガキ、お電話でのお受付はいたしていません。 申込期間：～4/30(木)	学校法人西南学院 社会連携課（西南コミュニティカレッジ事務局） 〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92 TEL 092-823-3374 FAX 092-823-3172 E-Mail：sw-ext@seinan-gu.ac.jp
【公開講座】 ⑨聖書にみる植物の民俗学 西南コミュニティカレッジ（2026年前期） 植物は、身近なものだけでなく、非常に珍しいもの、食べられるもの、毒があるものなどさまざまです。そして、その植物には、家に植えてはいけないとされる禁忌や、神事で必ずお供えされるという慣習など、さまざまな意味や役割があります。今回は、聖書に登場する植物に着目し、どのような植物なのか探っていきましょう。	6月18日(木)・25日(木) 18：30～20：00 全2回 場所：西南コミュニティセンター（西南学院大学内）	対象：一般 定員：24人 料金：2,000円（全2回分）	申込方法：ホームページ「お申込フォーム」からお申し込みください。 https://www.seinan-gu.ac.jp/education_study/lifelong_learning/extension.html ※E-mail、ハガキ、お電話でのお受付はいたしていません。 申込期間：～5月28日(木)	
【公開講座】 ⑩交流分析(TA)で学ぶ心のあり方 西南コミュニティカレッジ（2026年前期） 交流分析（TA）は、人がどのように考え、感じ、行動するのかをわかりやすく理解するための心理学です。本講座では、「人は誰でもOKである」というTAの基本的な考え方を出発点に、安定した心のあり方、日常のコミュニケーションのしくみ、ストレスがかかったときに現れやすい心の動きを取り上げます。理論を生活に結びつけながら、自分らしく生きるためのヒントを4回にわたって学びます。	6月23日～7月14日 毎週火曜日 18：30～20：00 全4回 場所：西南コミュニティセンター（西南学院大学内）	対象：一般 定員：20人 料金：4,000円（全4回分）	申込方法：ホームページ「お申込フォーム」からお申し込みください。 https://www.seinan-gu.ac.jp/education_study/lifelong_learning/extension.html ※E-mail、ハガキ、お電話でのお受付はいたしていません。 申込期間：～6月2日(火)	
【公開講座】 ⑪聖書の女性たちは何を語るのか ― フェミニスト神学の視点で読み解く物語 西南コミュニティカレッジ（2026年前期） 聖書には、時代の中で声を奪われ、周縁へ追いやられた多くの女性たちが登場します。しかし、彼女たちの物語はしばしば「語られないまま」にされてきました。フェミニスト神学は、その沈黙に光を当て、支配の側ではなく周縁の視点から聖書を読み直す試みです。特に、ジェンダーの視点で女性たちの経験や痛みを耳を澄ますとき、聖書は新しい姿を現します。専門知識は不要です。ともに聖書から希望と解放のメッセージを受け取りましょう。	7月2日～7月30日 毎週木曜日 18：30～20：00 全5回 場所：西南コミュニティセンター（西南学院大学内）	対象：一般 定員：24人 料金：5,000円（全5回分）	申込方法：ホームページ「お申込フォーム」からお申し込みください。 https://www.seinan-gu.ac.jp/education_study/lifelong_learning/extension.html ※E-mail、ハガキ、お電話でのお受付はいたしていません。 申込期間：～6月11日(木)	

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
家庭・くらし				
【育児・家庭教育】				
【前期】 スクールカウンセラーが見た 子どもの心・保護者の気持ち ※対面またはZoomによるオンライン講座 スクールカウンセラーの経験を通じて見えてきた親子の心理について、わかりやすくお話しします。①発達凸凹、②不登校の理解と対応、③ひきこもりへの対応などです。親子のより良いコミュニケーションに役立つ講座です。 お話しするトピックは新しくなるので、継続受講の方も歓迎します。 講師：斎藤 富由起(福岡女学院大学 心理学科 教授)	4月20日、5月18日、6月1日・15日、7月6日、8月3日・17日、9月7日 各月曜日 13：30～15：00 全8回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車） または オンライン受講 ※準備いただくもの（オンライン受講の方）：カメラマイク内蔵の通信機器（パソコン/タブレット/スマートフォンなど） および 通信環境	対象：一般市民 料金：13,600円 （全8回分） 教材費：500円 ※1回(複数講座お申込可)のお申込につき事務手数料500円別途要	申込方法：HPお申し込みフォームまたは電話でお申し込みください。 FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付けます。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター (生涯学習) 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail： shogai@fukujo.ac.jp
【健康・医療】				
【前期】 大人の健康講座 ～にぎにぎ体操で若返り～ 今期も、無理なく代謝を高めるにぎにぎ体操で健康な身体づくりをめざします。手をにぎるやさしい動きが、代謝アップや睡眠の質向上、フレイル予防に効果的。初めてのの方も大歓迎！わかりやすく丁寧に進めますので、ぜひ一緒に。 講師：西内 久人（福岡女学院大学 非常勤講師・厚労省認定健康運動指導士）	4月16日、5月7日・21日、6月4日・18日 各木曜日 10：00～11：30 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象：一般市民 料金8,500円 （全5回分） 教材費100円 保険料100円 ※新規の方のみ安全握力用具「にぎってごらん」をご購入ください（3,000円程度）。 すでにお持ちの方は備考欄にご記入ください。 ※1回のお支払いにつき事務手数料500円かかります（複数講座お申込可）。	申込方法：HPお申し込みフォームまたはお電話にてお申し込みください。 FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記入して問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付けます。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター (生涯学習) 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail： shogai@fukujo.ac.jp
【前期】 軽やかに歩こう！ ノルディックウォーキング 健康のために新しいウォーキングをしてみませんか？ノルディックウォーキングを基礎から学び、ボールの使い方、姿勢改善、膝や腰に優しい歩き方、心肺機能アップ、バランス向上を実技で習得。5回で楽に長く歩ける身体をつくる健康プログラムです。 講師：西内 久人(福岡女学院大学 非常勤講師・厚労省認定健康運動指導士) 持ってくる物：水分補給用の飲料水、動きやすい服装で	4月23日、5月14日・28日、6月11日・25日 各木曜日 10：00～11：30 全5回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象：一般市民 料金 8,500円 （全5回分） 保険料 100円 ※1回のお支払いにつき事務手数料500円かかります（複数講座お申込可）。	申込方法：HPお申し込みフォームまたはお電話にてお申し込みください。 FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記入して問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付けます。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター (生涯学習) 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail： shogai@fukujo.ac.jp
健康運動教室Ⅰ 高齢者を対象に、ストレッチや簡単な筋力トレーニングなど健康的な身体づくりをお手伝いします。	5月11日～7月13日 毎週月曜日 10：30～11：30 場所：総合西市民プール	対象：65歳以上 定員：15人 料金：500円/回	HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	総合西市民プール 〒819-0046 福岡市西区西の丘1-4-1 TEL 092-885-0124 FAX 092-885-6016

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
【前期】 大人の健康講座 ～自宅で簡単！若返り体操～ ※Zoomによるオンライン講座 熱中症指数が高まるこの時期、涼しい自宅で無理なく健康を守りませんか？「にぎにぎ体操」なら、室内で手軽に代謝アップ！睡眠の質向上やフレイル予防にも効果的です。オンラインなので外出の不安もありません。初めての方も画面越しに丁寧に進めますので安心です。おうちで一緒に、若々しい身体づくりを始めましょう！ ※ご準備いただくもの：オンライン環境（パソコン、タブレット、スマートフォン等）、安全握力用具「にぎってごらん」（3,000円程度） 講師：西内 久人（福岡女学院大学 非常勤講師・厚生省認定健康運動指導士）	7月2日・16日、8月6日・20日 各木曜日 10：00～11：30	対象：一般市民 料金6,800円（全4回分） 教材費100円 ※準備するもの：水分補給用の飲料水、安全握力用具「にぎってごらん」 ※1回のお支払いにつき事務手数料500円がかかります（複数講座お申込可）。	申込方法：HPお申し込みフォームまたはお電話にてお申し込みください。FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記入して問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付けます。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター（生涯学習） 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail：shogai@fukujo.ac.jp
【ボランティア活動】				
4月開催！ 毎週月曜は市民活動相談 活動のお悩み、あすみんで解決しませんか？あすみんでは、NPO・ボランティア団体の皆さま向けに、活動におけるお悩み事をじっくり相談できる「市民活動相談」という相談枠を設けています。事業計画、イベントの企画・運営、広報・情報発信、助成金・資金調達、人材育成、ボランティア募集など、幅広いご相談に対応しています。既に団体活動をしている方も、これから始めたいという個人の方もOK！市民活動支援の経験が豊富なスタッフがご対応いたします。 相談員：あすみん職員	4月 6日～27日 毎週月曜日 （祝日は15：00～15：50が最終枠）。 10：00～10：50 11：00～11：50 14：00～14：50 15：00～15：50 18：00～18：50 19：00～19：50 （いずれか1枠、先着順） 場所：福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん（中央区今泉1-19-22 天神クラス4F）	料金：無料	お申込み方法：事前予約制。開催日の3日前までの受付です。お申込みフォームよりお申込みください。または、申込書に記入の上、メール・FAX・来館のいずれかにてあすみんまでご提出ください。	福岡市NPO・ボランティア交流センターあすみん 〒810-0021 福岡市中央区今泉1-19-22 天神クラス 4階 TEL 092-724-4801 FAX 092-724-4901 E-Mail：info@fnvc.jp
ボランティア講座を開催します！ ※対面またはZoomによるオンライン講座 ボランティアをやってみたい！受け入れたい！という方、まずはあすみんで基礎を学びませんか？あなたは「ボランティア」を経験したことがありますか？ボランティアという言葉に聞きなじみはあっても、本当の意味やどのように社会に役立っているかは、知らない方も多いようです。この講座では、基礎的な知識はもちろん、ボランティア活動を始めたり、受け入れたりする際の心構えやその意義を学びます。すでに活動中で、もう一度ちゃんと知りたい方にもオススメの基礎講座です！	4月9日(木) 19:00～21:00 場所：福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん（中央区今泉1-19-22 天神クラス 4階） ※4月7日時点でオンラインのお申込みがない場合には、会場のみでの開催といたします。	定員：来館20人 オンライン20人 料金：無料	申込方法：お申し込みフォームよりお申し込みください。または来館・電話・FAXのいずれかにて下記内容をお伝えください。 (1) 団体名（あれば）、(2) お名前、 (3) 電話番号またはメールアドレス、 (4) 参加方法（来館またはオンライン）	
【前期】 履修証明プログラム ～日本語ボランティア A～ ボランティアで日本語を教える際の基礎を学びます。日本語を学習者の視点からとらえ直し、さらに教え方を具体的に学びます。どなたでも受講していただけます。前期にAを、後期にBを履修し、修了した方には、学校教育法に基づく履修証明書が交付されます。 講師：守山 恵子(福岡女学院 院長) 藤山 智子(福岡女学院大学 メディア・コミュニケーション学科准教授) ※履修証明書の交付には、こちらの「日本語ボランティアA」と後期開催の「日本語ボランティアB」の両方の受講が必要です。	4月10日～7月17 日 毎週金曜日 10：30～12：00 全15回 場所：福岡女学院大学内 施設（交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象：一般市民 料金：22,500円(全15回分) 教材費：1,000円 テキスト代：2,100円程度 ※一回(複数講座お申込可)のお申し込みにつき事務手数料500円別途要。	申込方法：HPお申し込みフォームまたは電話でお申し込みください。FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付けます。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター（生涯学習） 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail：shogai@fukujo.ac.jp

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
【その他の家庭・くらし】				
【前期】 人間関係心理学：気づきと学習 理論と演習を組み合わせた方法で人間関係を充実させる心理学を学びます。演習は「勉強」という堅いイメージではなく、楽しく「遊ぶ」感覚のゲームなどを活用した内容です。ちょっとした体験を通じて新たな気づきを得て自己成長を目指します。 講師：佐野 幸子（福岡女学院大学 教授）	5月14日～28日 毎週木曜日 10:30～12:00 全3回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象：一般市民 料金：5,100円（全3回分） 教材費：200円	申込方法：HPお申し込みフォームまたは電話でお申し込みください。FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。申し込み期間：先着順で随時受け付けます。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター（生涯学習） 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail：shogai@fukujo.ac.jp
みんなで”不登校”について考えるセミナー 不登校に対する基本的理解と支援について社会的な課題となっている「不登校」について、不登校の基本的理解と支援のあり方を学びます。 講師：長阿弥 幹生（教育文化研究所代表） コーディネーター：大西 良（筑紫女学園大学 心理・社会福祉専攻 准教授）	6月6日(土) 10:00～12:00 場所：筑紫女学園大学	対象：一般 定員：50人 料金：無料	申込方法：FAX・メール・申込フォームからお申込みください。FAX・メールでのお申込みの場合、次の①～⑤をご記入ください。①講座名②受講日③氏名（ふりがな）④年代⑤FAX番号（FAXでお申込みの方） 申込期間：講座開催日1週間前まで ※定員に達した場合、締切日前に受付を終了することもあります。	筑紫女学園大学 社会連携センター 〒818-0192 太宰府市石坂2-12-1 TEL 092-925-9685 FAX 092-925-9683 E-Mail：gakushu@chikushi-u.ac.jp
芸術・文化				
【文学・文芸・俳句・短歌・川柳】				
俳句【水曜日】 四季折々の俳句歳時記の季語は一万七〇〇〇ぐらいあります。四季の移り変わりによる自然の美や日常生活を季語を使って、五七五で表現すれば、誰でも俳句を詠むことができます。 講師：山本 則男（YAMAMOTO Norio） （俳人協会会員、現代俳句協会会員、「銀化」第一同人、「空」、「天籟通信」、「ロマネコンティ」各同人）	4月1日、5月13日、6月3日、7月1日、8月5日、9月2日 各水曜日 13:00～15:00 全6回 ※受講レベル：初級者向け ※まずは有料体験をご予約ください （申込みは希望日の1週間前まで） 場所：福岡工業大学 社会連携センター (本部棟1階) [JR福工大前駅 徒歩5分]	対象：一般市民 定員：10人 料金：10,200円（全6回） ※FITオープンカレッジは会員制です。(別途：入会事務手数料：2,000円)	申込方法：福岡工業大学社会連携センターホームページからお申込みください。 https://reserva.be/cccoffice?ctg_no=e2eJwzMjS1NAAAAwQBAG 申込期間：定員になり次第終了 ※お席に空きがありましたら途中入講も可能です。	福岡工業大学 社会連携センター 〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1 TEL 092-606-7089
【前期】 短 歌 ※Zoomによるオンライン講座 初めの20分間は馬場あき子の歌集紹介で、今期は第21歌集『ゆふがほの家』から第24歌集『あかゑあをゑ』まで進みます。その後、参加者で歌会をします。2週間前までに自由題1首、題詠1首をお送りください。 題詠は4月が「夕」、5月が「間」、6月が「赤」、7月が「青」です。 講師：桜川 冴子(歌人、福岡女学院大学 准教授)	4月9日、5月14日、6月11日、7月9日 各木曜日 10:30～12:00 全4回 ※準備いただくもの：カメラ マイク内蔵の通信機器（パソコン/タブレット/スマートフォンなど） および 通信環境	対象：一般市民 料金：6,800円（全4回） 教材費：300円 ※1回(複数講座お申込可)のお申込みにつき事務手数料500円別途要	申込方法：HPお申し込みフォームまたは電話でお申し込みください。FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター（生涯学習） 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail：shogai@fukujo.ac.jp

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
【前期】 ステキな文章との出会い 読書の楽しみ 現代日本のすばらしい作品・文章を味わいます。谷川俊太郎のエッセイ、面白い「人生相談」、村上春樹など、素敵な本、作品を紹介します。第1回目は「人生相談の名品」（橋本治、加藤典洋など）です。本が好きな方、これから読書を楽しみたい方、どうぞ、気楽に、ご参加ください。 講師：水野 光 (元 福岡女学院中高 教諭)	4月21日、5月19日、6月2日・16日、7月7日・21日 各火曜日 10：30～12：00 全6回 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象： 一般市民 料金：10,200円（全6回） 教材費：400円 ※1回のお支払いにつき事務手数料500円がかかります（複数講座お申込可）。	申込方法：HPお申し込みフォームまたはお電話にてお申し込みください。FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。 申し込み期間：先着順で随時受け付けます。また、講座途中からも受講していただけます。	福岡女学院大学 地域・国際交流センター (生涯学習) 〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail : shogai@fukujo.ac.jp
【前期】特別講座 教養・万葉の歌と心 【第一講】 大王の歌ー雄略天皇の歌語りー 【第二講】 樹下の美人をうたうー美人画から美人詠へー 講師：東 茂美 (福岡女学院大学 名誉教授・文学博士)	第一講：5月27日 第二講：7月22日 いずれも水曜日 13：30～15：00 場所：福岡女学院大学内 施設 （交通手段：西鉄電車「井尻」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車。JR鹿児島線「南福岡」下車、西鉄バス45番系統乗車「福岡女学院前」下車）	対象：：一般 料金：各2,000円(各講1回) （第1講+第2講）4,000円 教材費：各200円(第1講+第2講)400円 ※1回(複数講座お申込可)のお申込みにつき事務手数料500円別途要	申込方法:HPお申し込みフォームまたは電話でお申し込みください。FAX・Eメールの方は、希望講座名・氏名・住所・電話番号を記して下記の問い合わせ先に申し込んでください。 ※どちらかだけの受講も可能です。お電話でその旨をお伝えいただくか、講座申込フォームの備考欄に希望の日程をご記入ください。	福岡市南区日佐3-42-1 TEL 092-575-2993 FAX 092-575-6480 E-Mail : shogai@fukujo.ac.jp
【美術・絵画・書】				
絵画教室あとりえ【午前】 一枚の絵を好きなように描いてみませんか。コースは自由に選べ、油絵・水彩・パステル・色鉛筆 等、使用したい道具で制作できます。 のんびり一枚の作品を描きたい方、展覧会・コンクール等に発表したい方、それぞれにあったアドバイスをします。 講師：眞田 則幸 (Sanada Noriyuki) (国際美術連盟会員、日本美術家連盟会員、あとりえ主宰)	4月3日・10日・24日 5月8日・15日・22日・29日、6月5日、12日、19日、26日、7月3日・10日・17日・24日、8月21日・28日、9月4日・11日・18日 各金曜日 10：00～12：15 全20回 ※受講レベル：初級者向け ※まずは無料見学(冒頭30分)または1日有料体験(1,000円)をご予約ください。(申込みは希望日の1週間前まで) 場所：福岡工業大学 社会連携センター (本部棟1階) [JR福工大前駅 徒歩5分]	対象：一般市民 定員：20人 料金：34,000円（全20回分） ※材料費月実費 ※FITオープンカレッジは会員制です。(別途：入会事務手数料：2,000円) 【持参品】当面講師が準備、必要に応じて別途案内	申込方法：福岡工業大学社会連携センターホームページからお申込みください。 https://reserva.be/cccoffice?ctg_no=e2eJwzMjS1NAAAAwQBAG 申込期間：定員になり次第終了 ※お席に空きがありましたら途中入講も可能です。	福岡工業大学 社会連携センター
絵画教室あとりえ【午後】 一枚の絵を好きなように描いてみませんか。コースは自由に選べ、油絵・水彩・パステル・色鉛筆 等、使用したい道具で制作できます。 のんびり一枚の作品を描きたい方、展覧会・コンクール等に発表したい方、それぞれにあったアドバイスをします。 講師：眞田 則幸 (Sanada Noriyuki) (国際美術連盟会員、日本美術家連盟会員、あとりえ主宰)	4月3日・10日・24日、5月8日・15日・22日・29日、6月5日・12日・19日・26日、7月3日・10日・17日・24日、8月21日・28日、9月4日・11日・18日 各金曜日 12：45～15：00 全20回 ※受講レベル：初級者向け ※まずは無料見学(冒頭30分)または1日有料体験(1,000円)をご予約ください。(申込みは希望日の1週間前まで) 場所：福岡工業大学 社会連携センター (本部棟1階) [JR福工大前駅 徒歩5分]	対象：一般市民 定員：20人 料金：34,000円（全20回） ※材料費月実費 ※FITオープンカレッジは会員制です。(別途：入会事務手数料：2,000円) 【持参品】当面講師が準備、必要に応じて別途案内	申込方法：福岡工業大学社会連携センターホームページからお申込みください。 https://reserva.be/cccoffice?ctg_no=e2eJwzMjS1NAAAAwQBAG 申込期間：定員になり次第終了 ※お席に空きがありましたら途中入講も可能です。	〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1 TEL 092-606-7089

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
葦ペンでスケッチ！ 【土曜日】 水辺の葦で作ったペンをういて、その独特の美しい線を生かした作品を楽しむ絵の講座です。 葦ペンで表現することの面白さや楽しさをみんなで発見しよう教室です。 講師：中村 洋一（NAKAMURA Yoichi） （ 葦ペン画家）	4月4日、5月9日、6月6日、7月4日、8月1日、9月5日 各土曜日 10：00～12：00 全6回 ※受講レベル： 初級者向け ※まずは無料見学(冒頭30分)または1日有料体験（1,000円）をご予約ください。（申込みは希望日の1週間前まで） 場所：福岡工業大学 社会連携センター (本部棟1階) [JR福工大前駅 徒歩5分]	対象：一般市民 定員：15人 料金：13,200円（全6回） ※葦ペン1本300円 ※FITオープンカレッジは会員制です。(別途：入会事務手数料：2,000円) 【持参品】4～6号スケッチブック・製図用インク・水彩用具	申込方法：福岡工業大学社会連携センターホームページからお申込みください。 https://reserva.be/cccoffice?ctg_no=e2eJwzMjS1NAAAAwQBAG 申込期間：定員になり次第終了 ※お席に空きがありましたら途中入講も可能です。	福岡工業大学 社会連携センター 〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1 TEL 092-606-7089
フラワーペインティング アクリル絵の具と丸筆を使って、色々な素材に花の絵を描きます。初心者でも大丈夫。何色もの絵の具を筆先につけて一気に一筆で描く事で色のグラデーションが生み出され、生き生きとした花を描くことができます。 講師：安藤 美彌子（ANDOU Miyako） （ブルンピアハウス講師）	4月9日、5月14日、6月11日、7月9日、8月6日、9月10日 各木曜日 10：00～15：00 全6回 ※受講レベル：初級者向け ※まずは無料見学(冒頭30分)または1日有料体験（1,000円）をご予約ください。（申込みは希望日の1週間前まで） 場所：福岡工業大学 社会連携センター (本部棟1階) [JR福工大前駅 徒歩5分]	対象：一般市民 定員：20人 料金：22,200円（全6回分） ※1,000～2,000円（1作品） カリキュラム代2,000円 ※FITオープンカレッジは会員制です。(別途：入会事務手数料：2,000円)	申込方法：福岡工業大学社会連携センターホームページからお申込みください。 https://reserva.be/cccoffice?ctg_no=e2eJwzMjS1NAAAAwQBAG 申込期間：定員になり次第終了 ※お席に空きがありましたら途中入講も可能です。	
葦ペンでスケッチ！ 【火曜日】 水辺の葦で作ったペンをういて、その独特の美しい線を生かした作品を楽しむ絵の講座です。 葦ペンで表現することの面白さや楽しさをみんなで発見しよう教室です。 講師：中村 洋一（NAKAMURA Yoichi） （ 葦ペン画家）	4月14日・28日、5月12日・26日、6月9日・16日、7月14日・28日、8月4日・25日、9月1日・8日 各火曜日 10：00～12：00 全12回 ※受講レベル：初級者向け ※まずは無料見学(冒頭30分)または1日有料体験（1,000円）をご予約ください。（申込みは希望日の1週間前まで） 場所：福岡工業大学 社会連携センター (本部棟1階) [JR福工大前駅 徒歩5分]	対象：一般市民 定員：15人 料金：26,400円（全12回分） ※葦ペン1本300円 ※FITオープンカレッジは会員制です。(別途：入会事務手数料：2,000円) 【持参品】4～6号スケッチブック・製図用インク・水彩用具	申込方法：福岡工業大学社会連携センターホームページからお申込みください。 https://reserva.be/cccoffice?ctg_no=e2eJwzMjS1NAAAAwQBAG 申込期間：定員になり次第終了 ※お席に空きがありましたら途中入講も可能です。	
小磯良平展—幻の名作《日本髪 of 娘》 日本を代表する近代洋画家のひとり・小磯良平（1903-1988）の画業を紹介する、福岡では35年ぶりの回顧展です。兵庫県出身の小磯は、西洋絵画のエッセンスを日本に取り入れようと試み、古典的な美しさをたたえた人物画を数多く手がけました。 このたび、小磯が手掛けた和装の女性像《日本髪 of 娘》が約90年ぶりに韓国から里帰りを果たします。幻の名作とされてきた《日本髪 of 娘》とともに神戸市立小磯記念美術館のコレクションを中心とした100点を超える作品を通し、小磯が追求したモダンな人物表現の魅力をお楽しみください。	4月18日(土)～6月21日(日) 9：30～17：30 （入館は閉館の30分前まで） 休館日：月曜日 ※5月4日（月・祝）、5月5日（火・祝）、5月6日（水・振休）は開館し、5月7日（木）は休館 場所：福岡市美術館 2階 特別展示室	料金：一般1,700円（1,600円）、高大生1,100円（1,000円）、中学生以下無料 ほか ※（ ）内は前売り、20人以上の団体料金 前売券は、福岡市美術館ミュージアムショップ・ARTNEチケットオンラインで4月17日（金）まで販売		福岡市美術館 〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6 TEL 092-714-6051

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
スポーツ				
【球技】				
障がい者ボウリング教室 2月開催福岡都市圏障がい者ボウリング大会への出場を目指しながら、ボウリング競技の規則・マナー等を学び、ゲーム（2ゲーム）を楽しみます。はじめての方も気軽にご参加ください。	①7月11日 ②8月8日 ③9月12日 ④11月21日 ⑤12月19日 ⑥1月30日 各土曜日 14：00～15：30 全6回 場所：パピオボウル （博多区千代1-15-30）	対象：福岡市内に居住または市内の施設や学校に入所・通所・通学する中学生以上の障がい者 定員：30人程度 料金：各回1,500円（スポーツ傷害保険料、レーン代）	申込方法：申込書をHPからダウンロードするか、情報プラザ(市役所1階)または、さん・さんプラザ(南区清水)に置いてある申込書に必要事項を記入のうえ、郵送またはメール、FAXでお申し込みください。 申込期間：6月12日(金)～6月26日(金) ※療育手帳を取得されていない方でも、支援学級、支援学校に在籍している場合は対象となります。 ※精神障害者保健福祉手帳を取得されていない方でも、自立支援医療（精神通院）受給者証がある場合は対象となります。	(特非)福岡市障がい者スポーツ協会 〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市市民福祉プラザ3階 TEL 092-781-0561 FAX 092-781-0565 E-Mail： fukuoka@suporeku-fuku.com
知的障がい者サッカー教室 楽しく体を動かしながら仲間とのコミュニケーションを図り、楽しみながら技術的なレベルアップを図ります。はじめての方も気軽にご参加ください。	①9月6日 ②10月18日 ③11月8日 ④12月20日 ⑤1月10日 ⑥2月14日 各日曜日 9：30～11：00 全6回 場所：西南杜の湖畔公園 球技場 (城南区七隈)	対象：福岡市内に居住または通勤・通学する中学生以上の知的障がい者(個人)、または知的障がい者で編成するサッカーチーム等 定員：40人程度 料金：500円(スポーツ傷害保険料として)	申込方法：申込書をHPからダウンロードするか、情報プラザ(市役所1階)または、さん・さんプラザ(南区清水)に置いてある申込書に必要事項を記入のうえ、郵送またはメール、FAXでお申し込みください。 申込期間：7月15日（水）～7月29日（水）	
【ランニング・ウォーキング・水泳】				
初級大人スイムレッスン 25m泳げない方を対象に、泳ぎの基礎を学びます。	4月17日～6月26日 毎週金曜日 9：30～11：00 場所：総合西市民プール	対象：25m泳げない18歳以上 定員：10人 料金：8,500円	申し込み方法：HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	総合西市民プール 〒819-0046 福岡市西区西の丘1-4-1 TEL 092-885-0124 FAX 092-885-6016
障がい者水泳教室 兼 選手育成 全国障害者スポーツ大会の競技規則に対応した泳法を取得し、福岡市代表として全国障害者スポーツ大会への出場を目指す。	①5月12日 ②6月9日 ③7月14日 ④8月18日 ⑤9月8日 ⑥10月6日 ⑦11月10日 ⑧12月8日 ⑨1月19日 ⑩2月9日 各火曜日 18：30～20：00 全10回 場所：福岡市立障がい者スポーツセンター プール	対象：福岡市内に居住または通勤、通学する中学生以上の障がい者で、4泳法のいずれかで25m以上泳ぐことができる者 また、全国障害者スポーツ大会に申し込む意欲のある者 定員：10人程度 料金：1,000円(スポーツ傷害保険料として)	申込方法：申込書をHPからダウンロードするか、情報プラザ(市役所1階)または、さん・さんプラザ(南区清水)に置いてある申込書に必要事項を記入のうえ、郵送またはメール、FAXでお申し込みください。 申込期間：4月3日(金)～4月17日(金)	(特非)福岡市障がい者スポーツ協会 〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市市民福祉プラザ3階 TEL 092-781-0561 FAX 092-781-0565 E-Mail： fukuoka@suporeku-fuku.com
大人水泳 更に長く、楽に泳げるように、ポイントを押さえながら行います。	9月5日～10月24日 毎週土曜日 18：30～20：00 場所：総合西市民プール	対象：25m泳げる18歳以上 定員：10人 料金：8,000円	HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	総合西市民プール 〒819-0046 福岡市西区西の丘1-4-1 TEL 092-885-0124 FAX 092-885-6016

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
【体操・トレーニング・ヨガ・エアロビクス】				
ZUMBA®Ⅰ ラテンの音楽に合わせ、楽しく汗をかきリフレッシュします。	4月16日～6月25日（5月7日除く） 各木曜日 19：00～20：00 場所：総合西市民プール	対象：18歳以上 定員：13人 料金：8,000円	申し込み方法：HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	総合西市民プール 〒819-0046 福岡市西区西の丘1-4-1 TEL 092-885-0124 FAX 092-885-6016
ピラティス前期 ピラティスを基礎から学ぶ、初心者の方でも参加しやすい教室。	4月17日～6月19日 毎週金曜日 11:30～12:30 全10回 場所：中央体育館 武道室	対象：18歳以上 定員：30人 料金：8,000円（全10回分）	申込方法：中央体育館ホームページ申込みフォームよりお申込みください。または、官製ハガキ、FAXに教室名・名前（ふりがな）・年齢（学年）・住所・電話番号を記入の上、中央体育館まで送付してください。	中央体育館 〒810-0042 福岡市中央区赤坂2-5-5 TEL 092-741-0301 FAX 092-741-0617 HP https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/gym_chuou.html
ボクシングエクササイズⅠ 比較的運動強度の高いメニューを提供します。しっかり汗をかいてリフレッシュします。	4月17日～6月19日 毎週金曜日 11：30～12：30 場所：総合西市民プール	対象：18歳以上 定員：15人 料金：8,000円	申し込み方法：HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	総合西市民プール 〒819-0046 福岡市西区西の丘1-4-1 TEL 092-885-0124 FAX 092-885-6016
あさトレ前期 65歳以上を対象とし、ストレッチや簡単な筋トレ、有酸素運動などを行う教室。	5月8日～6月19日 毎週金曜日 10：30～11：30 場所：中央体育館 健康体力相談室	65歳以上 12人 料金：500円/回	中央体育館ホームページ申込みフォームよりお申込みください。または、官製ハガキ、FAXに教室名・名前（ふりがな）・年齢（学年）・住所・電話番号を記入の上、中央体育館まで送付してください。	中央体育館 〒810-0042 福岡市中央区赤坂2-5-5 TEL 092-741-0301 FAX 092-741-0617 HP https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/gym_chuou.html
朝ピラティス前期 ピラティスを基礎から学ぶ、初心者の方でも参加しやすい教室。	5月13日～8月5日（5月20日を除く） 各水曜日 9：30～10：30 全12回 場所：中央体育館 健康体力相談室	対象：18歳以上 定員：12人 料金：9600円（全12回分）	中央体育館ホームページ申込みフォームよりお申込みください。または、官製ハガキ、FAXに教室名・名前（ふりがな）・年齢（学年）・住所・電話番号を記入の上、中央体育館まで送付してください。	
ヨガ前期 ヨガを基礎から学ぶ、初心者の方でも参加しやすい教室。	5月13日～8月5日（5月20日を除く） 各水曜日 10：45～11：45 全12回 場所：中央体育館 健康体力相談室	対象：18歳以上 定員：12人 料金：9,600円（全12回分）	申込方法：中央体育館ホームページ申込みフォームよりお申込みください。または、官製ハガキ、FAXに教室名・名前（ふりがな）・年齢（学年）・住所・電話番号を記入の上、中央体育館まで送付してください。	
ZUMBA®① ラテンを中心とした世界中の音楽を使用したフィットネスプログラム。	5月13日～7月22日（5月20日を除く） 各水曜日 全10回 19：30～20：30 場所：中央体育館 武道室	対象：18歳以上 定員：30人 料金：8,000円（全10回分）	申込方法：中央体育館ホームページ申込みフォームよりお申込みください。または、官製ハガキ、FAXに教室名・名前（ふりがな）・年齢（学年）・住所・電話番号を記入の上、中央体育館まで送付してください。	
フロアエクササイズⅠ ストレッチやレクリエーション、トレーニングなど、楽しく運動できるプログラムを提供します。	5月14日～7月16日 毎週木曜日 13：30～14：30 場所：総合西市民プール	対象：18歳以上 定員：15人 料金：500円/回	HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	総合西市民プール 〒819-0046 福岡市西区西の丘1-4-1 TEL 092-885-0124 FAX 092-885-6016

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
ZUMBA®② ラテンを中心とした世界中の音楽を使用したフィットネスプログラム。	6月26日～8月21日（8月14日を除く） 各金曜日 19：00～20：00 全8回 場所：中央体育館 健康体力相談室	対象：18歳以上 定員：12人 料金：6,400円（全8回分）	申込方法：中央体育館ホームページ申込みフォームよりお申込みください。または、官製ハガキ、FAXに教室名・名前（ふりがな）・年齢（学年）・住所・電話番号を記入の上、中央体育館まで送付してください。	中央体育館 〒810-0042 福岡市中央区赤坂2-5-5 TEL 092-741-0301 FAX 092-741-0617 HP https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/gym_chuou.html
シニアヨガⅡ ヨガの基本をゆっくり学び、しっかりと身体をリフレッシュします。	9月2日～12月2日（9月23日、10月28日、11月4日、25日除く） 各水曜日 10：00～11：00 場所：総合西市民プール	対象：65歳以上 定員：12人 料金：7,500円	申し込み方法：HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	総合西市民プール 〒819-0046 福岡市西区西の丘1-4-1 TEL 092-885-0124 FAX 092-885-6016
アクアエクササイズ 水の抵抗を利用したウォーキングや筋力トレーニングを行います。	9月2日～12月2日（9月23日、10月28日、11月4日、25日除く） 毎週水曜日 10：45～11：30 場所：総合西市民プール	対象：18歳以上 定員：15人 料金：500円/回	HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	総合西市民プール 〒819-0046 福岡市西区西の丘1-4-1 TEL 092-885-0124 FAX 092-885-6016
ヨガⅡ ヨガの基本から徐々にレベルを上げて、しっかりと身体をリフレッシュします。	9月2日～12月2日（9月23日、10月28日、11月4日、25日除く） 各水曜日 11：30～12：30 場所：総合西市民プール	対象：18歳以上 定員：12人 料金：8,000円	HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	
ZUMBA®GOLD ラテンの音楽に合わせ、楽しく汗をかきリフレッシュします。初心者向けのZUMBAの導入に最適です。	9月4日～10月23日（9月25日除く） 各金曜日 11：30～12：30 場所：総合西市民プール	対象：18歳以上 定員：15人 料金：5,600円	HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	
エアロビクス 軽快な音楽のリズムに合わせて行うリズムエクササイズ。楽しく汗を流します。	9月10日～11月19日（9月24日除く） 各木曜日 10：00～11：00 場所：総合西市民プール	対象：18歳以上 定員：15人 料金：8,000円	HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	
やさしいエアロビクス 高齢者を対象に有酸素運動であるエアロビクスを実施。ストレッチなどを取り入れ強度の低い内容で行います。	9月16日～11月11日（9月23日除く） 各水曜日 11：15～12：15 全8回 場所：中央体育館 健康体力相談室	対象：65歳以上 定員：12人 料金：6,000円（全8回分）	申込方法：中央体育館ホームページ申込みフォームよりお申込みください。または、官製ハガキ、FAXに教室名・名前（ふりがな）・年齢（学年）・住所・電話番号を記入の上、中央体育館まで送付してください。	中央体育館 〒810-0042 福岡市中央区赤坂2-5-5 TEL 092-741-0301 FAX 092-741-0617 HP https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/gym_chuou.html

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
【その他スポーツ】				
障がい者フライングディスク教室 楽しく体を動かしながら仲間とのコミュニケーションを図り、実践を通して技術的なレベルアップを図ります。 また、11月の福岡市障がい者スポーツ大会 フライングディスク大会への出場を目指します。 はじめての方も気軽にご参加ください。	①5月16日 ②6月20日 ③7月4日 ④9月5日 ⑤10月10日 ⑥11月7日 各土曜日 10：00～12：00 全6回 場所： ・福岡市立障がい者スポーツセンター(屋内) ・平和台陸上競技場（屋外）	対象：福岡市内に居住または通勤・通学する中学生以上の障がい者 定員：40人 料金：500円(スポーツ傷害保険料として)	申込方法：申込書をHPからダウンロードするか、情報プラザ(市役所1階)または、さん・さんプラザ(南区清水)に置いてある申込書に必要事項を記入のうえ、郵送またはメール、FAXでお申し込みください。 申込期間：～4月15日(水)	(特非)福岡市障がい者スポーツ協会
障がい者陸上競技教室 楽しく体を動かしながら仲間とのコミュニケーションを図り、実践を通して技術的なレベルアップを図ります。 また、9月の福岡市障がい者スポーツ大会 陸上競技大会や、全国障害者スポーツ大会への出場を目指します。 はじめての方も気軽にご参加ください。	①5月23日 ②6月27日 ③7月18日 ④8月22日 ⑤9月5日 ⑥10月10日 ⑦11月7日 ⑧12月5日 ⑨1月23日 ⑩2月20日 各土曜日 9：30～11：30 全10回 場所： ・平和台陸上競技場（屋外） ・博多の森陸上競技場、補助競技場(屋外)	対象：福岡市内に居住または通勤・通学する中学生以上の障がい者 定員：70人程度 料金：1,000円(スポーツ傷害保険料として)	申込方法：申込書をHPからダウンロードするか、情報プラザ(市役所1階)または、さん・さんプラザ(南区清水)に置いてある申込書に必要事項を記入のうえ、郵送またはメール、FAXでお申し込みください。 申込期間：4月3日(金)～4月17日(金)	〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市市民福祉プラザ3階 TEL 092-781-0561 FAX 092-781-0565 E-Mail： fukuoka@suporeku-fuku.com
腸&リンパ美人エクササイズ前期 腸・リンパを中心にアプローチしていくことで、身体の不調の改善を目指す教室。	5月25日～8月10日（6月15日、7月20日、8月17日を除く）各月曜日 13:30～14:30 全10回 場所：中央体育館 武道室	18歳以上 20人 料金：8,000円（全10回分）	中央体育館ホームページ申込みフォームよりお申し込みください。 または、官製ハガキ、FAXに教室名・名前（ふりがな）・年齢（学年）・住所・電話番号を記入の上、中央体育館まで送付してください。	中央体育館 〒810-0042 福岡市中央区赤坂2-5-5 TEL 092-741-0301 FAX 092-741-0617 HP https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/gym_chuou.html
第31回 福岡市障がい者スポーツ大会 陸上競技大会 障がいのある人がスポーツに親しむことを目的に開催する大会です。 初心者さんも、お気軽にご参加ください。 ※次年度の全国障害者スポーツ大会 福岡市代表選手の選考を兼ねています。	9月26日（土） 9：30～開会式 10：30～競技開始 15：00 競技終了 ※現時点での予定 場所：東平尾公園博多の森陸上競技場 （博多区東平尾公園2-1-2）	対象：以下（１）～（３）の条件を満たす者 （１）福岡市内在住または福岡市内の施設、学校に入学及び通所並びに通学している者。 （２）障害者手帳のいずれかの交付を受けた者。（①身体②療育③精神） （３）中学生以上の方	申込方法：申込書をHPからダウンロードするか、情報プラザ（市役所1階）または、さん・さんプラザ（南区清水）に置いてある申込書に必要事項を記入のうえ、郵送または持参、メール、ファックスでお申し込みください。 申込期間：6月12日（金）～7月3日（金） ※申込期間は、令和8年3月時点での予定です。	(特非)福岡市障がい者スポーツ協会 〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市市民福祉プラザ3階 TEL 092-781-0561 FAX 092-781-0565 E-Mail： fukuoka@suporeku-fuku.com
子ども・親子向け				
【学習・体験】				
キッズプラネタリウム クイズをしたり、解説者とやり取りしたりしながら、お子様と一緒に楽しむことができるプラネタリウムです。泣いても、おしゃべりしてもお互い様。気がねなく楽しめます。	①8月9日（日） ②8月10日（月） 各日13：30～14：10 場所：福岡県青少年科学館	対象：制限なし 定員：各日180人 料金：一般620円、児童・生徒310円 ※幼児（3歳以下）と65歳以上は無料	当日総合案内にて先着順で申込	福岡県青少年科学館 〒830-0003 久留米市東櫛原町1713 TEL 0942-37-5566 FAX 0942-37-3770 E-Mail： mail@science.pref.fukuoka.jp

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
【スポーツ】				
小学生ダンスⅠ 近年人気の高いダンス。小学生からリズム感を身につけます。	4月16日～6月25日 （5月7日除く） 各木曜日 17：30～18：30 場所：総合西市民プール	対象：小学生 定員：12人 料金：7,500円	申し込み方法：HP・FAX・総合西市民プール https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	総合西市民プール 〒819-0046 福岡市西区西の丘1-4-1 TEL 092-885-0124 FAX 092-885-6016
こどもの日 無料開放 中学生までのお子様とその付き添いの保護者は無料で施設がご利用いただけます。	5月5日（火・祝） 終日 場所：総合西市民プール	対象：中学生以下とその保護者 料金：無料		
こどもの日・親子かけっこ教室 親子で一緒に走り方について学ぶイベント。 運動会本番までご自宅でも練習できる内容で実施します。	5月4日（月・祝） 9:30～11:00 場所：中央体育館 競技場	対象：小学生とその保護者 定員：20組40人 料金：950円	中央体育館ホームページ申込みフォームよりお申込みください。 または、官製ハガキ、FAXに教室名・名前（ふりがな）・年齢（学年）・住所・電話番号を記入の上、中央体育館まで送付してください。	中央体育館 〒810-0042 福岡市中央区赤坂2-5-5 TEL 092-741-0301 FAX 092-741-0617 HP https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/gym_chuou.html
こどもの日・スポーツ鬼ごっこ体験教室 スポーツ鬼ごっこを体験できる教室。	5月4日（月・祝） 11:30～13:00 場所：中央体育館 競技場	対象：小学生とその保護者 定員：20組40人 料金：950円	中央体育館ホームページ申込みフォームよりお申込みください。 または、官製ハガキ、FAXに教室名・名前（ふりがな）・年齢（学年）・住所・電話番号を記入の上、中央体育館まで送付してください。	
こどもの日・キッズパーク 幼児から小学生とその保護者を対象に、競技スポーツやニュースポーツ、パラスポーツなど様々なスポーツを体験できるイベント。	5月4日（月・祝） 14：00～17：00 場所：中央体育館 競技場	対象：幼児から小学生とその保護者 定員：なし 料金：無料	申込み不要 当日会場までお越しください。	
こどもの日 小学生体力測定体験 第1部・第2部 小学生向けの体力測定体験会。測定のポイントや効果に基づいたアドバイスを行う。	5月5日（火・祝） 第1部 13：00～13：45 第2部 14：00～14：45 場所：総合西市民プール	対象：小学1～6年生 定員：各部20人 料金：無料	HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 HP https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	総合西市民プール 〒819-0046 福岡市西区西の丘1-4-1 TEL 092-885-0124 FAX 092-885-6016
スポーツ体験ランドin城南区 1日でいろいろなスポーツを体験できます!!	5月17日（日） 10：00～13：00 場所：福岡大学ラグビー場、総合体育館	対象：福岡市内に居住か通学する小学生 定員：250人 料金：無料	福岡市スポーツ協会 ホームページより申込 HP https://www.sports-fukuokacity.or.jp/	（公財）福岡市スポーツ協会 〒819-0005 福岡市西区内浜1-5-1 TEL 092-407-8381
幼児水泳Ⅰ 第1部・第2部 小学校入学へ向けて水泳の練習を行います。潜りや浮きなどレベルアップを目指していきます。	5月29日～6月26日 毎週金曜日 第1部 15：00～15：45 第2部 16：00～16：45 場所：総合西市民プール	対象：顔付けのできる未就学児（4～6歳） 定員：各部10人 料金：4,800円	申し込み方法：HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	総合西市民プール 〒819-0046 福岡市西区西の丘1-4-1 TEL 092-885-0124 FAX 092-885-6016

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
スポーツ体験ランドin早良区 1日でいろいろなスポーツを体験できます!!	6月6日(土) 10:00~16:00 場所: 福岡市立早良体育館	対象: 福岡市内に居住か通学する小学生 定員: 150人 料金: 無料	福岡市スポーツ協会 ホームページより申込 HP https://www.sports-fukuokacity.or.jp/	(公財) 福岡市スポーツ協会 〒819-0005 福岡市西区内浜1-5-1 TEL 092-407-8381
げんきっずひろば 5・6歳の幼児を対象に、遊びの中で運動に必要な動きを学ぶ教室。	6月13日~7月11日 毎週土曜日 15:30~16:30 全5回 場所: 中央体育館 武道室	対象: 5・6歳の幼児(年中・年長) 料金: 2,500円(全5回分)	中央体育館ホームページ申込みフォームよりお申込みください。 または、官製ハガキ、FAXに教室名・名前(ふりがな)・年齢(学年)・住所・電話番号を記入の上、中央体育館まで送付してください。	中央体育館 〒810-0042 福岡市中央区赤坂2-5-5 TEL 092-741-0301 FAX 092-741-0617 HP https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/gym_chuou.html
小学生ダンス 小学生を対象に、ダンスの基礎を学ぶ教室。	6月26日~8月21日(8月14日を除く) 各金曜日 17:30~18:30 全8回 場所: 中央体育館 健康体力相談室	対象: 小学生 定員: 12人 料金: 6,000円(全8回分)	中央体育館ホームページ申込みフォームよりお申込みください。 または、官製ハガキ、FAXに教室名・名前(ふりがな)・年齢(学年)・住所・電話番号を記入の上、中央体育館まで送付してください。	
スポーツ体験ランドin南区 1日でいろいろなスポーツを体験できます!!	7月18日(土) ①9:30~12:30 ②13:30~16:30 場所: 福岡市立南体育館	対象: 福岡市内に居住か通学する小学生 定員: 150人 料金: 無料	福岡市スポーツ協会 ホームページより申込 HP https://www.sports-fukuokacity.or.jp/	(公財) 福岡市スポーツ協会 〒819-0005 福岡市西区内浜1-5-1 TEL 092-407-8381
体験! 夏休みげんきっずスクール 小学1~2年生を対象に、コーディネーショントレーニングなどを取り入れ、身体の使い方や仲間づくりの大切さを学ぶ教室。	7月23日~8月6日 毎週木曜日 15:30~16:30 全3回 場所: 中央体育館 武道室	対象: 小学1~2年生 定員: 12人 料金: 1,500円(全3回分)	中央体育館ホームページ申込みフォームよりお申込みください。 または、官製ハガキ、FAXに教室名・名前(ふりがな)・年齢(学年)・住所・電話番号を記入の上、中央体育館まで送付してください。	中央体育館 〒810-0042 福岡市中央区赤坂2-5-5 TEL 092-741-0301 FAX 092-741-0617 HP https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/gym_chuou.html
夏休み小学生スイミング 第1部・第2部 25m泳げない小学生を対象に泳ぎの基本から発展までレベルごとに3班に分け、短期集中的に教えます。	8月3日(月)~7日(金) 第1部 17:30~18:30 第2部 18:30~19:30 場所: 総合西市民プール	対象: 25m泳げない小学生 定員: 各部30人 料金: 4,800円	HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	総合西市民プール 〒819-0046 福岡市西区西の丘1-4-1 TEL 092-885-0124 FAX 092-885-6016
小学生水泳Ⅱ 第1部・第2部・第3部 25m泳げない小学生を対象に、泳ぎの基本から発展までレベルごとに3班に分け、教えます。	9月5日~10月24日 毎週土曜日 第1部 15:00~16:00 第2部 16:00~17:00 第3部 17:00~18:00 場所: 総合西市民プール	対象: 25m泳げない小学生 定員: 各部30人 料金: 7,600円	HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	

講座イベント名・内容	日時・場所	対象・定員・料金	申込方法・申込期間・申込先	問合せ
キッズスポーツアカデミー (中学年) 身体をうまく使いこなせるようなコーディネーションを中心に、ゲーム要素で楽しく行いながら、運動能力の向上を目指します。	9月7日～11月2日 (9月21日、10月12日を除く) 各月曜日 17:30～18:30 場所：総合西市民プール	対象：小学3、4年生 定員：12人 料金：3,500円	HP・FAX・総合西市民プール管理事務所窓口 https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi.html	総合西市民プール 〒819-0046 福岡市西区西の丘1-4-1 TEL 092-885-0124 FAX 092-885-6016
げんきっずスクール 小学1～2年生を対象に、コーディネーショントレーニングなどを取り入れ、身体の使い方や仲間づくりの大切さを学ぶ教室。	9月19日～11月7日 (10月3日、10月10日を除く) 各土曜日 15:30～16:30 全6回 場所：中央体育館 武道室	対象：小学1、2年生 定員：12人 料金：3,000円(全6回分)	中央体育館ホームページ申込みフォームよりお申込みください。 または、官製ハガキ、FAXに教室名・名前(ふりがな)・年齢(学年)・住所・電話番号を記入の上、中央体育館まで送付してください。	中央体育館 〒810-0042 福岡市中央区赤坂2-5-5 TEL 092-741-0301 FAX 092-741-0617 HP https://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/gym_chuou.html

～福岡市地域人財バンク「生涯学習関係講師」を 活用してみませんか？～

「まなびアイふくおか」では、市民の皆さんの主体的な学習活動を支援するため、生涯学習に関する知識や経験を持つ講師・指導者を「福岡市地域人財バンク」として紹介しています。

その中でも約200名が登録している生涯学習関係講師には、語学や食生活などの暮らし・社会分野、心理学などの学術分野、工芸などの芸術・文化分野、各種スポーツ分野の専門家など、多彩な方々が揃っています。

講演会や体験学習などを計画されている地域団体や市民グループの皆さん、福岡市地域人財バンクを活用して生涯学習関係講師を採用してみませんか？

〈活用の流れ〉

- ① まなびアイふくおかホームページ「講師・指導者情報」よりご希望の講師を選び、希望講師名・開催される学習会の日時等を記載した情報提供申請書(ホームページから様式をダウンロード)を生涯学習課宛てにメールで送付してください。
- ② 生涯学習課から講師へ依頼内容を伝えます。
- ③ 講師の了承後、生涯学習課から依頼者へ連絡します。
- ④ 依頼者から講師へ電話連絡し、打ち合わせをしてください。
- ⑤ 学習会を実施後、生涯学習課へ実施報告書を提出してください。

(主な生涯学習関係講師の指導分野)

- 暮らしと社会(環境／語学／幼児・青少年ほか)
- ・学術(心理学／歴史・地理／自然科学ほか)
- ・芸術・文化・趣味(美術／工芸／音楽ほか)
- ・スポーツ・リクリエーション(体操／ダンス／レクリエーション・野外活動 ほか)

(過去の活用例)

- ・地域の民生委員・児童委員の研修会として、講師のギター・ハープの演奏と共に経験談による人権コンサートを開催
- ・地域で健康づくり活動をする皆さんを対象に、管理栄養士の講師による生活習慣病を予防する食生活について講演

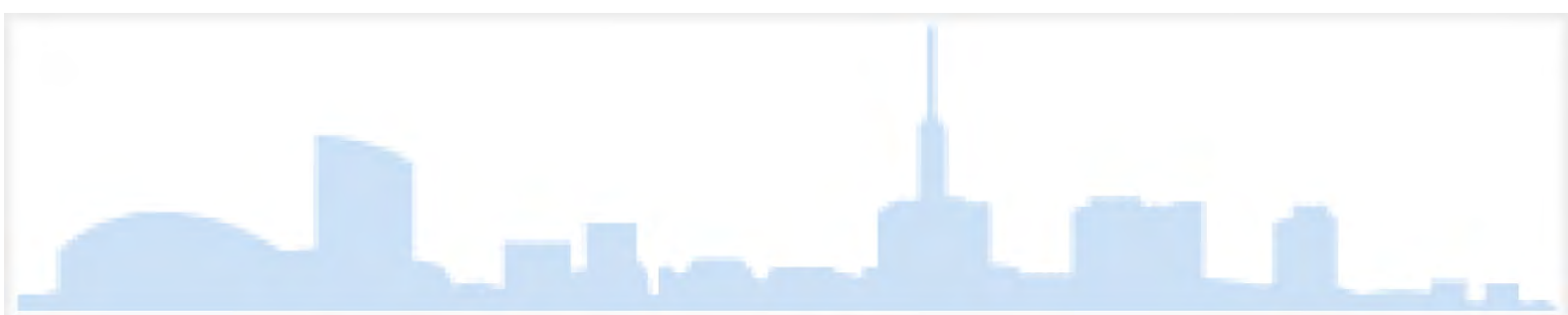
「まなびアイふくおか」ホームページ「講師・指導者情報」
<https://gakushu.city.fukuoka.lg.jp/teacher/>



〈問い合わせ先〉

福岡市市民局コミュニティ推進部生涯学習課
TEL:092-711-4653 FAX:092-733-5768

まなびアイふくおか（情報誌版）第74号（令和8年3月発行）



- 本誌は福岡市学習情報提供システム「まなびアイふくおか」のホームページから、令和8年3月4日現在の「講座・イベント情報」を抜粋して作成した情報誌です。
- 掲載の講座・イベント情報の詳細および最新情報は、各主催者にお問い合わせください。
- まなびアイふくおかの掲載情報は、利用者が自己の責任においてご利用ください。
- 掲載の情報の営利上の目的、政治・宗教の勧誘などに利用されることはお断りいたします。
- このシステムの管理者は、提供する情報の内容を変更・停止することがあります。
- 管理者は、このシステムの利用に関して生じた利用者の問題・損害についていかなる責任も負いません。

まなびアイふくおかホームページでは、「講座・イベント情報」のほかにも、講師・指導者情報「福岡市地域人財バンク」や公民館・市民センターなどの情報が満載です。インターネットでもまなびアイふくおかをご活用ください。

編集発行：福岡市市民局コミュニティ推進部生涯学習課
〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号（福岡市役所7階）
TEL 092(711)4653 FAX 092(733)5768



（まなびアイふくおか）

社会教育士とのつながりづくりについて

1 概要

- ・令和２年に制度化された「社会教育士」は、地域、行政、企業など多様な現場において、人づくり・つながりづくり・地域づくりを担う存在として、その役割がますます期待されている。

社会教育士とは…教育委員会事務局に配置される「社会教育主事」になるための講習や養成課程を修了した者に与えられる「称号」で、社会教育主事にならなくてもその能力があることがわかるよう新設された。

～文部科学省ホームページより～

- ・社会教育士同士が分野や立場を超えて互いにつながり、学び合い、支え合うことができる関係を育てていくことは、社会教育を推進していく上で重要だと考えられる。
- ・福岡市は、社会教育士のつながりづくりの第一歩として、SNS上にグループを立ち上げたことを報告するもの。会議日現在、このグループには 14名の社会教育士が参加している。

2 背景（国の動向等）

- ・中央教育審議会（分科会、特別部会等）において、近年増加する社会教育士の活用機会の拡大が、社会教育の具体的な推進方策の一つとして議論されている（令和８年夏ごろ答申予定）
- ・あわせて、文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課は、すべての都道府県と政令指定都市の社会教育・生涯学習担当課に、社会教育人材をつなぐネットワークづくりの重要性を繰り返し呼びかけている。

3 福岡市の取り組み（現状）

- ・令和８年１月、福岡市が連絡先を把握する社会教育士 43 人に今後の継続的なつながりを提案
- ・賛意を示した人に、BCC一斉メールによる情報提供を開始
- ・令和８年３月、その関係性を一歩進め、社会教育士同士が相互にコミュニケーションを図ることができる場として、SNS（LINEオープンチャット）上に「福岡市社会教育グループ」を整備

4 今後の方向性

- ・このグループは、互いの実践や関心を共有し、教え合い、学び合う関係を育てていくことを目的とする。あらかじめ明確な到達点を定めるのではなく、参加する社会教育士の関心や実践の広がりに応じて、形を変えながら育っていくネットワークをイメージしている。
- ・あわせて、できる範囲での相互扶助の場としての成熟を目指す。
- ・福岡市は、社会教育主事が参加し、グループを伴走的に支える立場として関わっていく。
- ・今後も、新たに社会教育主事講習を受講する人にもグループのことを知ってもらいながら、社会教育士が活躍できる土壌を整える役割を務めていく。

令和７年度 社会教育関係職員研修

１ 基礎研修（平成 29 年度から実施）

	日時・会場	テーマ等	講師	参加者数
1	8月28日（木） 13:30～16:30 中央市民センター	学びのイメージを広げよう －生涯学習の意義と課題－	福岡大学 人文学部 教授 植上 一希	42 名
2	9月19日（金） 13:30～16:30 中央市民センター	社会教育の基礎 －今回は各論からスタート－	中村学園大学 教育学部 教授 圓入 智仁	42 名
3	10月17日（金） 13:30～16:30 なみきスクエア	公民館入門 －その歴史と可能性を知り仕事に 活かす－	福岡大学 人文学部 教授 添田 祥史	40 名
4	11月28日（金） 13:30～16:30 早良市民センター	地域づくりと公民館 －館長・主事の役割の違いと協働 とは－	九州大学大学院 人間環境学研究院 教授 岡 幸江	66 名

目的 社会教育における地域の中核施設・公民館で働く公民館職員や、公民館支援に携わる区職員が、企画・運営など公民館事業を推進するにあたり、社会教育の意義や社会教育的視点からの地域づくり等について知見を深め、コミュニティ活動と一体的に事業を推進するための知識や技術を習得することを目的に、研修を行う。

受講生の感想（アンケート結果より）

○今後の仕事に役立つか

	とても役に立つ	役に立つ	あまり役に立たない	役に立たない	未回答	計
第1回	26人(61.9%)	16人(38.1%)	0人	0人	0人	42人
第2回	27人(64.2%)	13人(31.0%)	0人	0人	2人(4.8%)	42人
第3回	29人(72.5%)	8人(20.0%)	0人	0人	3人(7.5%)	40人
第4回	36人(54.6%)	23人(34.8%)	1人(1.5%)	0人	6人(9.1%)	66人

○自由記述（抜粋）

- ・学びは必要なものだ！と当たり前に、そして漠然と感じていたことを、理論的に、尚且つ分かり易く教えていただけた。日ごろ感覚的に仕事をこなしているのが、今一度見つめ直すことができる学び深い研修だった。
- ・学習観を広げることが大切なことだと教えてもらった。
- ・多様な学びのサポートができるよう取り組んでいきたい。
- ・今年は、去年よりもわかることが少し増えた。
- ・日々の業務が法律に裏付けされていることがわかり、改めて、自分たちの事業に自信をもっていいのだと思った。
- ・来年に向けての事業計画に大変役立つ内容であった。自分の学習不足を痛感している。博物館、美術館

などに足を運んだり書籍を読んだりして、来年の研修までには少し成長しておきたい。

- ・社会教育がどういうものか、理解できた。自分の役割の大きさに身震いしながらも、やりがいを感じる。
- ・先達の熱い思いを教えていただけてよかった。私も使命感に燃えて頑張ります。
- ・戦後まもなく公民館が設立された熱い思いと、教育、人格形成、産業等幅広い目的で運営されていた情熱と歴史を感じ、その志を忘れず、時代やニーズにあった公民館を運営していきたいと思った。
- ・公民館の原点に振り返って今を見つめ直す機会となった。同じグループの方々ともその気持ちを共有できてよかった。
- ・公民館が戦後の国民の希望の光のような存在だったとわかれると、自分の役割がとても重要だなと感じた。一日一日を大切にして、来館者一人一人ときちんと向き合うことの大切さを感じた。
- ・館長、主事の役割の違いはあっても、お互い意見を交わし尊重し合いながら、今後もより良い公民館づくりに励んでいきたい。
- ・新任のため、とにかく全てが参考になる。参加者が話す時間もたっぷりあって、拙いながら自分の意見や気持ちを吐き出せて良かった。
- ・地域の人々の暮らしの課題からはじまる公民館・社会教育行政、創造性が求められる現場、「おもしろさ」があるが私にとってはまだまだ理解が難しい。引き続き学んでいきたい。

2 応用研修（令和5年度から実施）

	日時・会場	テーマ等	講師	参加者数
1	令和8年 2月20日（金） 13:30～16:30 内浜公民館	公民館事業を育てる	九州大学大学院 人間環境学研究院 教授 岡 幸江 福岡大学人文学部 教授 添田 祥史	26名

目的 公民館職員がこれまでの公民館運営で得た経験・気づきや、平成29年から実施する基礎研修によって習得した知識を活かした実践等を、新たな企画につなげる力に変え、地域での公民館活動の中核を担う公民館職員のスキルアップを図ることを目的に、研修を行う。

受講生の感想（アンケート結果より）

○今後の仕事に役立つか

とても役に立つ	役に立つ	あまり役に立たない	役に立たない	未回答	計
18人(69.2%)	6人(23.1%)	0人	0人	2人(7.7%)	26人

○自由記述（抜粋）

- ・基礎編での理論を土台に、次年度スタートする事業を具体的に磨き上げる貴重な機会となった。ワークを通して、他の受講者から自分にはなかった視点や実践的なアドバイスを多数いただき、事業に関する解像度が格段に上がった。職員同士のネットワークが、いかに事業推進の力になるかを体感した。
- ・今までは、『なんかいい講座かも…』という感覚的なもので講座を開催していたが、今後に期待できる、展開する講座を意識していきたい！と強く感じた。この気持ちを忘れないようにしたい。
- ・同じ立場にいる公民館主事さんと意見を交わすことは、とても前向きな気持ちになれる。不安な心が少し落ち着く感じがする。本音トークができるのが何より。また岡先生、添田先生が私たちの意見に耳を傾けてくださることが、少し自分の自信にもつながってくる。この研修はずっと続けていただきたい。

4か月連続の熱い研修シリーズ

今年も

基礎研修始まる

潛入体験独占ルポ

8月28日（木）午後、福岡市立中央市民センター（中央区赤坂2）において「令和7年度第1回社会教育関係職員研修（基礎）学びのイメージを広げよう～生涯学習の意義と課題～」が開催された。福岡大学人文学部教授の植上一希先生が講師を務めるこの研修に、福岡市内各公民館の館長・主事、公民館を支える各区役所職員など計42名が集まった。体験報告をお届けする。

■意外なリラックスモード

社会教育の研修というから「お固い」現場を想像して乗り込んだが、会場内には軽いBGMが流れ、受講者は談笑しながら開始を待っていた。受付でグループに分けられ緊張しそうなものだが、意外なほど和やかな空気がただよう。

定刻になると、市民局生涯学習課主査と名乗った職員がマイクを取り、「一緒に楽しく学び

ましょう」と声掛けして講師紹介を始めた。

植上一希先生。

東京出身、趣味はミュージカル鑑賞・観劇、最近のお勧めは「ウィキッド」ですと紹介されると、受講者から「へー」「ああ」「ははー」「ほー」など共感と感



豊かな学びはリラックスした雰囲気の上にある

嘆が入り混じった声が漏れた。



植上先生…いきなりですが、「生涯学習」ってなんでしょう。

のっけからこんな根源的な問いに戸惑う我々に、植上先生は元ユネスコ成人部局長のP・ラングラン氏が1965年に発した次の言葉を紹介する。「学校教育だけが学びの場ではない。学校教育を受ける前も後も、私たちは学び続けている。だから、人生の時間軸と空間軸をイメージしながら、生涯にわたる学びを支える教育システムを整備していく必要がある」。



ラングランのこの言葉によって、社会における様々な教育や学習の存在

に目が向けられるようになりました。生涯学習という概念を具体化していくためには、「既存の学習観を広げる」こと、「様々な学習を意義付けていく（≠学びに意味を見出す）」ことが大切です。学習って多様なんです。学習と言うとどうしても学校をイメージしがちですが、アニメを観ることも、読書も、旅行も、友達との会話も、なんだって「学習契機」、学びのきっかけになります。何を学ぶのか、だれが学ぶのかも多様です。そして、意識されにくいものは価値が低いなんてことは絶対にありません。

■大盛り上りのグループワーク

この研修では、講義を聞くだけでなく、グループで話し合う時間が重視されている。講義の内容を踏まえて自分の言葉で話してみることで理解が深まるし、わからなかったことがあれば「あれこういうことだったの？」と気軽に聞くこともできる。まずは（改めて）グループ内で自己紹介。そして植上先生から投げかけられたお題は「公民館における学習とは何でしょう？皆さんが支援している学習の特徴を把握することが目的です」。

最初に個人でじっくり考える時間が設けられ、「ではこれからグループ内で一人ずつ発表をお願いします」と植上先生が声掛けすると、受講者は「待ってました！」とばかりに話し出した。さすがは日ごろから公民館で来館者と積極的にコミュニケーションを図る受講者たちである。一人3分程度を目安に植上先生が全体に「次の人」と声掛けするが、しゃべり足りないような顔がそこかしこでうかがえた。グループ討議の内容発表を、次の3人が引き受けた。

●南片江公民館・松尾主事…公民館の学びとは、楽しい空間、楽しい時間の共有の場であり、知り合い・友だちづくりの場であり、シ



ニアの方にとっては健康維持の場でもあるよね、という話をグループでしました。

●西新公民館・内村主事…うちの公民館では中高生サポーターを募集して、高齢者のスマホ塾のお手伝いをしてもらっています。以前、大学生から「ボランティア証明書がないですか」と尋ねられたことがあり、中高生にも同じニーズがあるのではと考え、独自の証明書を作ってみようかと話をしています。

●城南区役所・山下係長…公民館に来られる方

って、本当に積極的でポジティブな方が多いなと感じています。公民館の皆さんが工夫を凝らした事業を企画してくださっているからこそ、公民館に足を運ぶ人が次の興味を見つけるような良い循環が生まれている気がします。



学びの面白さや意味を実感し、可能性を信じている人が地域の中にたくさんいること——それが、学びの可能性を広げていきますし、そうした人がモデルとして地域の中で活躍したり尊重されたりしていくと、地域の学習力が上がっていくのではないのでしょうか。

学習観を広げることは、自分と他者の生（生きること）への興味や理解を深化させることにつながります。多様性が広がると、「あれは理解できない」「苦手だ」と感じてしまっこともあるかもしれませんが、そうではなく、どうしてこの人はこのことに深く関わっているんだろうとかと、その人の思いや学びに思いを巡らすことができれば、リスペクトと理解の解像度がぐっと高まります。最初のグループが発表してくれたように、公民館とはまさに、そうしたリスペクトを共有できる空間であり、時間でもあるの

だと思えます。

■講義は後半へ

ペルソナとして大学生Aさんや40代会社員Bさんが登場し、二人のリアルな悩みを通じて植上先生は「産業構造の変化や技術の急速な発展」「社会的縁辺化や孤立化の深まり」「高度な情報化と多様化の進展」といった切り口で「現代社会の変化の特徴」を解き明かす。



都市と地方の格差拡大、外国人労働者の増加、AIの発展などの変化は、キャリア形成にも大きな影響を与えています。「いい」大学に進学して「いい」会社に定年まで勤めるという日本型の終身雇用モデルも崩れ、なにが「普通」なのかわからない時代です。社会が急速に変化する中で、取り残されていく人や孤立感を深める人も少なくありません。高度な情報化が進み、価値観や行動の多様化が広まると、コミュニケーションのあり方にも変容がみられるようになります。

こうした現代社会の変化に対応するように、学習のあり方を見直していく必要があると受講者に説く植上先生。新たな学びの発想や構築のために、生涯学習の観点が有効なのだ、と。



書店にはコミュニケーションに関する書籍があふれ、企業も新入社員にコミュニケーション能力を重視する傾向があります。それは、①関わるメンバーが多様化し（世代間の価値観の隔たりやグローバル化など）、②デジタルツールなどによりコミュニケーション方法が変化し、③不確実な世の中でコミュニケーションの目的が共有されにくい（ゴールが多様である）、という現代社会の特徴の現れでもあります。私たちはなかなかたいへんな時代を生きていますよね（笑）。様々な社会変化の中でコミュニケーションが難しくなっているからこそ、コミュニケーションが大事なんです。



Copilot（生成AI）に描いてもらったひねりのない挿絵

■二度目のグループワーク

公民館活動においても、コミュニケーションの重要性は館長・主事の皆さんが日々実感していることであろう。二回目のグループワークのテーマは「公民館におけるコミュニケーションの困難に対してどのような対応が可能か」。



身近な話題に話がさらに弾む

■名島公民館・馬場館長…ちよつと自慢なのですが、うちの公民館のコミュニケーションはと

ても良好なんです。来館者の気持ちを汲み取った職員の話し方が素晴らしい。それでも、時には行き違いもあります。高齢の方と言葉だけでは伝わりにくいときは、書いてやりとりすることもあります。また、自治協メンバーとのコミュニケーションも大事ですよ。うまくいかないときは飲みにも行くし、とにかく共通点を探します。糸口を見つけ、心を通わせあう。そんなやり方で少しずつでも前進したいと思っています。



■別府公民館・中村主事…最近感じているのは、PTAや子ども会のネットワークが以前より

り少なくなっていることです。昔は「このお母さんに頼めば芋づる式に人が見つかる」ようなところがあつたんですね。公民館に来て参加者同士がつながるのは簡単じゃありません。講座を聞いて帰るだけになりがちです。連続講座をできれば（その予算があれば）いいのです

が。連続講座だとい

つのまにか仲間ができ、グループになったり、教室になったり、次のステップにいきやすいですから。代表者を見つけてサークルにするのもいいし——などと、コミュニケーションの話題がグループの中でどんどん広がりました。



従来は子育てを中心に地域のネットワークが築かれてきたが、女性の社会参加が難しくなっている、ただ、学習を契機にして新たなつながりを持てるのではないか——。そういうとても希望があるお話をしていただきました。



■クロージングと受講者の感想



今日の研修では、次の3つのポイントについて学びました。①「生涯学習」に関わる職員として必要な、「生涯学習」の意義に関する基礎的な考え方を身につけること、②自身が、学習イメージを広げていくとともに、その現代的必要性について理解すること、③コミュニケーションの困難という現代課題に対応するための観点を身につけること。皆さんがそれぞれの現場で生涯学習を推進するにあたって、少しでもヒントになればうれしいです。

最後に、アンケートに記された受講者の皆さんの熱い感想の一部を紹介する。

▼公民館での活動を振り返るよい機会になりました。コミュニケーションの方法も考えながら、これからの活動に活かしていきたいです。
▼世代によって生涯学習に対するニーズが違うことに加え、コミュニケーションの困難さも相まって「つながりにくさ」を感じています。つなぐ場を整える必要性を感じました。
▼学びは必要なものだ！と当たり前に、そして

漠然と感じていたことを、理論的に、なおかつ分かり易く教えていただきました。日ごろ感覚的に仕事をこなしているの、今一度見つめ直すことができる学び深い研修でした。

▼「他者と自身の生への興味や理解の深化」という植上先生の言葉が心に響きました。

▼日々の生活そのものを全て学びと捉え、他者へも自分へもどんな小さなことも拾っていきける繊細さや優しさを、心の奥深くに持ち続けたいと感じました。

▼何度か基礎・応用研修を受けていますが、毎回新たな気持ちで学べています。他の公民館活動の話を聞けるのも良いですね。

▼新任じゃない方にこそ刺さる内容だと思うので、もっと皆さんに参加してもらえらる工夫は無いかなと思いました。

▼まだ経験が浅いので、今日の講義をどう活かして行けるのか……。出来る事を少しずつ。

▼業務を一年やってみて、今年はわかることが少し増えました。

▼他の公民館の活動がわかり、自分の公民館でも活用出来るかもしれないと思いました。

▼同じ内容でも毎年聞きたいです。

学習者が主体的に学ぶグループというのはこんなにもよい雰囲気を出せるのかと驚かされた。潜在体験の価値がある研修であった。

* *

文責…教育委員会（市民局）生涯学習課 永田 皆さま、おつかれさまでした！次回以降もお待ちしております！未体験の方はぜひこの空気をリアル体験しに来てください！

講義内容については植上先生にも確認していただいておりますが、どうしても筆者の理解の範疇での記述にとどまりますことをご承知お願います。

基礎研修2回目は壁新聞っぽくお伝えするよ

⇒ 番号順にZ字型に読んでね

【社会教育の基礎 ～今回は各論からスタート～】



①生涯学習課・山本課長あいさつ

- ・この研修は、福岡市教育委員会に設置されている社会教育委員会議からの「提言」を受け、平成29年度に開始しました。
- ・公民館職員の皆さんと、公民館の支援にあたる区役所職員の皆さんにとって、社会教育の基本に立ち返る貴重な学びの機会であり、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の基盤となるものです。
- ・皆さんの学びが地域の皆さまの学ぶ意欲の向上につながることを願っています。

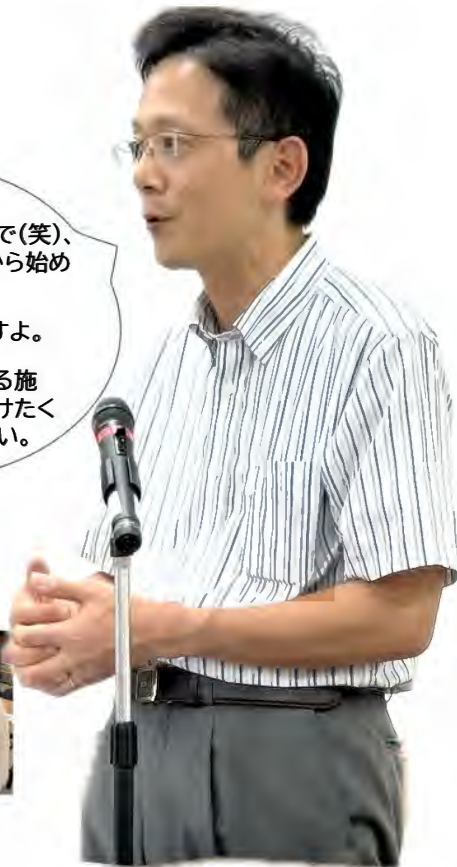
②園入先生ってどんな人？（講師紹介）

- ・園入智仁（えんにゆうともひと）先生
- ・中村学園大学教育学部教授
- ・好きな食べ物は、マンゴー、パパイヤ、焼きそば
- ・好きな映画は「インディージョーンズ」シリーズ、「トップガン」（新旧）、「新幹線大爆破」（新旧）
- ・好きな漫画は「火の鳥」、「風の谷のナウシカ」、「ゴルデンカムイ」、「MASTERキートン」
- ・中村学園大学の付属幼稚園の園長を4年間お務めになったご経験をお持ちです

③ 毎年この研修は最後まで行きつかないので(笑)、今日は逆転の発想で各論から始めてみます。

発想の転換って大事なんですよ。

まずは、社会教育に関連する施設をグループでできるだけたくさん考えてみてください。



⑤各班からたくさん施設が挙がりました

- ・公民館
- ・市民センター
- ・博物館、美術館、図書館
- ・体育館
- ・動物園、植物園
- ・科学館、児童館、青少年自然の家 などなどなど…

④わいわい、がやがや、かんかん、がくがく



⑥ 皆さんから挙がった施設の中には教育委員会(文部科学省)管轄ではない施設も含まれるので、厳密には「社会教育施設」ではないものもありますが、アンテナを広げるにふさわしい施設をたくさん挙げていただきました。

⑦ 公民館を支援する立場の皆さんにとって喜ばしいことに、社会教育に関係する同業他社(仲間)が近くにたくさんいます。隣近所の公民館だけでなく、広く社会教育に関わる(⑤で挙がったような)施設が「どういう目的で」「なにを企画している」「どういうことをやっているのか」を知ることは大きなヒントになるかもしれませんよ。

⑧ 私が幼稚園長を務めた時も、近隣の幼稚園だけでなく、保育園、小学校のことを調べ、そこから自分たちの幼稚園の立ち位置を考えました。

⑨ 皆さんが働く公民館は、なんのための施設なのでしょう。「公民館の名前ぐらい知ってるけど…」という人にどう説明しますか？その説明を聞いた人が、なるほど、公民館って必要だねとなりそうですか。

⑩ 担当主事のひとりごと「知らない人に説明する」視点ってとても大事なヒントかも。公民館だよりも(毎回じゃなくてもいいので)「公民館ってこんなところ、だから皆さんどうぞお越しください」という説明があってもいいのでは…？

⑪ 「公民館って必要なの？」市民のそういう素朴な疑問は、もしかしたら図書館や博物館には抱かれぬ疑問かもしれません。公民館の役割があまり認識されていないならそういう疑問が生じるかも…。その時に、公民館はこんなに大事なのだと説明できる道具、武器をもってほしい。

⑫ 公民館は社会教育の場であると同時に、行政の一部局でもあり、皆さんは行政組織の一員でもあります。地域住民の方をみるだけでなく行政としての立場もあり、両方を意識することになる。それはかなり苦しいことでもありまして、地域のためにこういうことに取り組みたい、企画したい、でも予算が…、ということも起こるでしょう。

⑬ 福岡市150館の運営はかなりの予算規模になります。人件費、事業費、改修費。そういう支出をしても福岡市は公民館が必要だと思っています。現場の皆さんもコスト意識を持つことは大事です。

- ・寺中作雄「公民館の建設—新しい町村の文化施設」(1946年)
 - ・枚方テゼ「社会教育をすべての市民に」(1963年)
 - ・下伊那テゼ「公民館主事の性格と役割」(1965年)
 - ・公民館三階建論(東京・三多摩：1965年)
 - ・徳永功「公民館活動の可能性と限界」(東京・三多摩、1966年)
 - ・三多摩テゼ「新しい公民館像をめざして」(1974年)
- そして
- ・「福岡市の生涯学習ビジョン～あらゆる学びの支援のために～」(2023年、右QR)



⑭ こういった先達の仕事、残したもののから学びましょう。皆さんがいま悩んでいることは、これまで、全国で公民館に携わってきた人がずっと考えてきたこと。いまの皆さんの悩みのヒントが必ずあります。公民館はとてもおもしろい施設です。同じことを考えてきた仲間がいっぱいいます。そのことを忘れないで。

⑮ 担当主事のひとりごと2 仲間の概念が時空を超えるこの感覚…、す、すごい！



⑪ 美術館、博物館にもぜひ足を運びましょう。
特別展には「人を集める工夫」がいっぱいあります。
インスピレーションも得られます。発想のネタをもら
える場所です。

⑫ 図書館は、公民館・博物館と並ぶ社会教育
の三大施設。ところで「図書館があるから本が売れない」とい
う批判があるのはご存じですか。ベストセラー本までどんどん貸し
出すと確かに出版社にとってはたまったものじゃないのかも。ひる
がえて、公民館。「貸し館屋さんになっている」という批判を
受けた場合、どうしますか？

⑬ 子どもの社会教育について考える上で、
学校でどんなことを学んでいるのかを知ることは外せ
ません。公民館で提供する子ども向けプログラムが「学校で
習うことの発展」なのか、「学校でやっていないこと」なのか、
いずれにしても学校のことを知る必要があります。

⑭ 法律は、とっつきにくそうでは実は優しいものです。皆さんがなにかを考
える大元の根拠になります。教育基本法の1条、2条など、そのまま公
民館事業計画書の目的・目標に書けるほどですよ。同法第3条生涯学
習の理念には「学習の成果を生かす」ことにまで言及されています。公
民館における発表会などがそれに当たるかもしれませんね。実践に携
わる皆さんだからこそ、法律を作った当時の人たちがどういう思い
だったのかに思いを馳せ、その法規をどう実践するかを考えてみてほ
しいです。
憲法26条は教育に携わる者の誇りです。

⑮ 来年どうするかそろそろ考え始める頃で
しょうか？ もしまだ時間があるならば、大
きな視野をもってほしいです。国はなにを
考えているのか、福岡市は社会教育として
なにを考えているのか。福岡市の生涯学
習ビジョンをぜひ参考にしてみてください。

⑯ 社会教育では利用者、学びに来た人の評価が大
切です。皆さんにとって嬉しい評価ってなんで
しょう？ おそらく、参加して良かったという声
ですよね。イベント・行事に参加する前と後で
ちょっとでも変わった、新しいものの見方を獲
得できた、そんな感想を得られるような講座や
イベントを期待しています。



グループワークは短めでしたがこの日も大いに盛り上がりしました

社会教育法

第二条（社会教育の定義）

第三条（国及び地方公共団体の任務）

教育基本法

前文

第一条（教育の目的）

第二条（教育の目標）

第三条（生涯学習の理念）

第四条（教育の機会均等）

第十条（家庭教育）

第十一条（幼児期の教育）

第十二条（社会教育）

担当主査注：紙面の都合で
条文泣く泣く割愛します。
Webでぜひ！

日本国憲法

第二十六条 すべて国民は、法律の定めるところにより、
その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

②すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護
する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育
は、これを無償とする。

受講した皆さんの感想（一部しか紹介できずすみません！）

▶ 改めて「他を知ること」の大切さを学ぶことができました。学び
の場を提供する側として、日ごろより、発想の転換を意識して業
務に取り組んでいきたいです。

▶ はじめ状況が解らずちょっと苦労しましたが、だんだん面白
くなって楽しく受講できました。

▶ 各論から入ったので、わかりやすかったです。また、法律に裏付
けされていることがわかり、改めて、自分たちの事業に自信を
もっていいのかなと思いました。

▶ とてもとてもためになりました。他者を見る目というものを全く
持ち合わせていなかったのが視野を広げていきたいです。
来年に向けての事業計画に大変役立つ内容でした。

▶ 自分の学習不足を痛感しています。博物館、美術館などに足を

運んだり書籍を読んだりして、来年の研修までには少し成長し
ておきたいです。

▶ どの言葉も大切なキーワードでした。来年の事業を考えるとき
に、市は何を考えてるか調べてみようと思います。

▶ 先達の熱い思いを教えていただけてよかったです。私も使命感
に燃えて頑張ります。

▶ 博物館や美術館に行って集客の工夫を見つけてみたいと思いま
した。

▶ 改めて社会教育の深さを感じました。

▶ 社会教育がどういうものか、理解できました。自分の役割の大
きさに身震いしながらも、やりがいを感じます。

▶ あっという間の3時間でした。

▶ 社会教育施設の意義や構成がわかりました。公民館の固定観念を
払拭し他の情報を受け入れて柔軟に運営するようにしたいです。

▶ まだ新米にとってはちょっと難しかったです。

▶ 去年も受けさせていただきましたが、1年たってわかることも増
えてきました。

▶ 公民館の生い立ちを知ると、今自分の立場がとても大事だとわか
りました。社会教育を学ぶことは、今後の主事の仕事にも大きな
影響を及ぼすことがわかり、また来年も受講したいと思いました。

文責：教育委員会（市民局）生涯学習課 永田

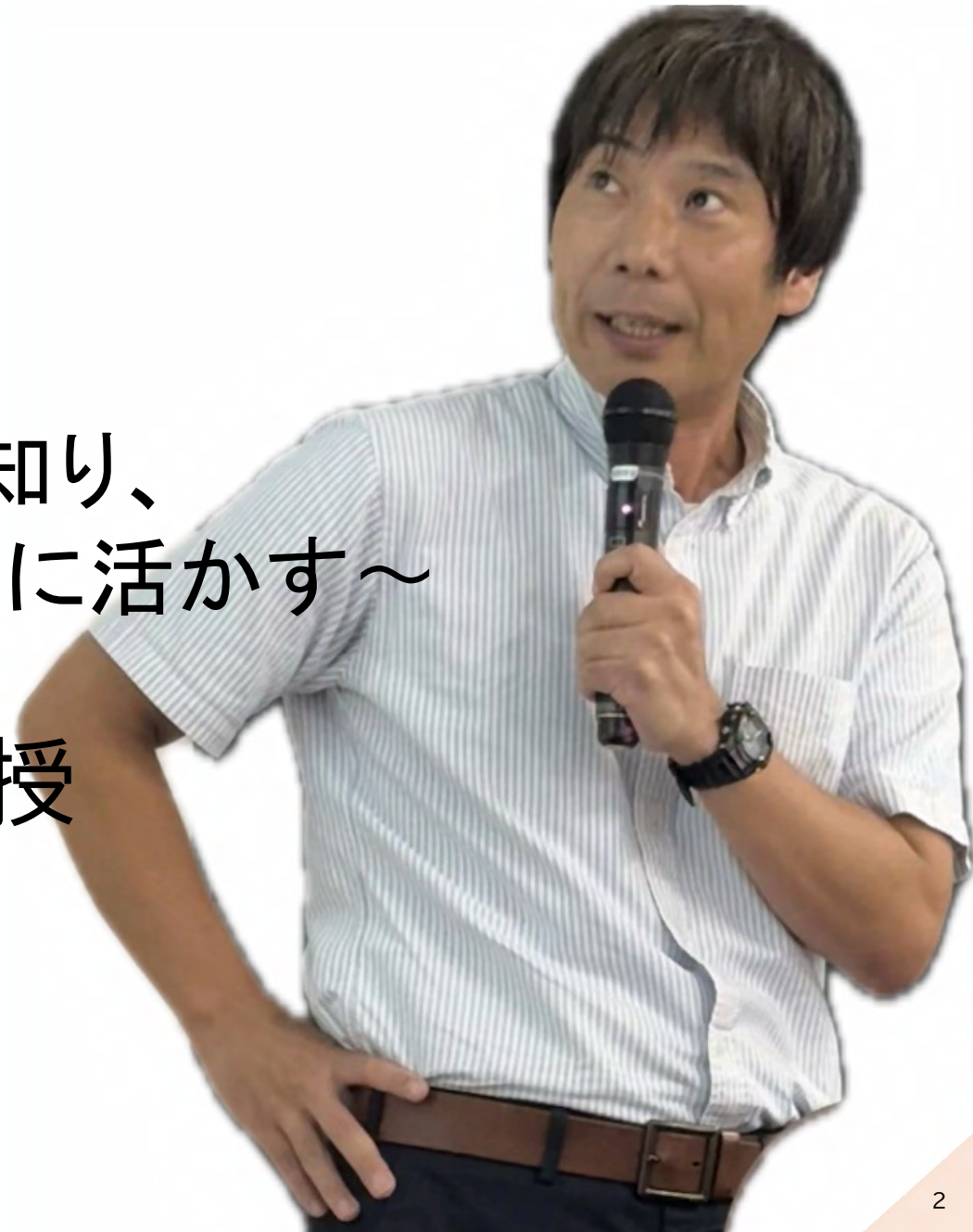
第2回のご参加もありがとうございました！1回目レポートと同じ言
い訳ですが、講義内容については（園入先生にもご確認いただきま
したが）どうしても筆者の理解の範疇での記述にとどまってしまう
です。ですので、言いたいこととしましては、ぜひリアルな研修の場
でお待ちしております！この研修はライブですよ。

10月17日(金)になみきスクエア(東市市民センター)で行われた、
令和7年度第3回社会教育関係職員研修(基礎)の様子を
紙芝居風に振り返ります。

公民館入門

～その歴史と可能性を知り、
仕事に活かす～

福岡大学人文学部教授
添田祥史先生



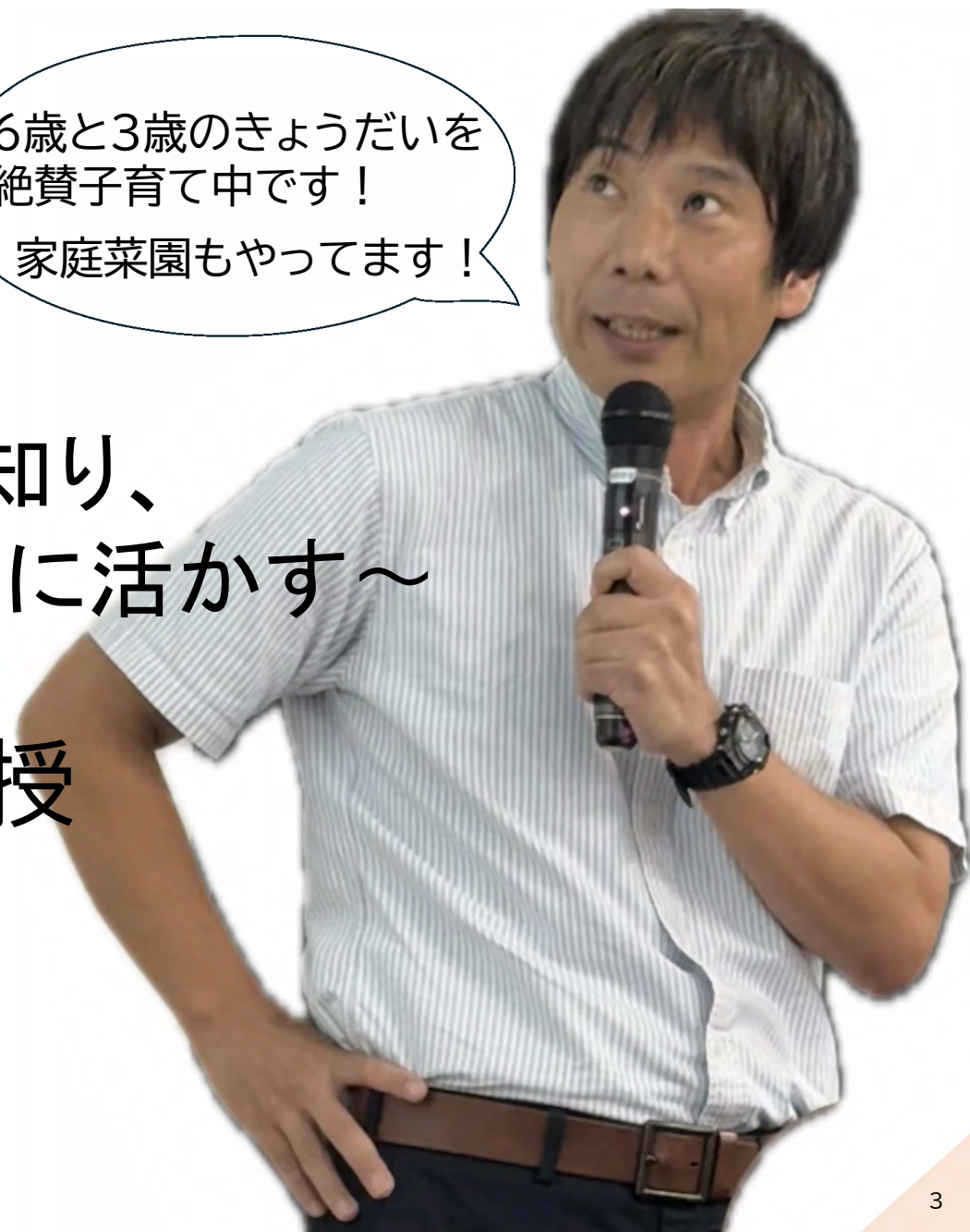
公民館入門

～その歴史と可能性を知り、
仕事に活かす～

福岡大学人文学部教授
添田祥史先生

6歳と3歳のきょうだいを
絶賛子育て中です！

家庭菜園もやっています！



むか～し昔、2025年の10月17日、
東区は「なみきスクエア」で令和7年度第3回社会教育関係職員研修(基礎)が行われました。

講師の添田先生は、静岡大学で学び、福岡大学赴任前は北海道教育大学釧路校に勤務されるなど、全国各地でご活躍されてきた経験をお持ちの中で、公民館の原体験として、
九大大学院時代(2003～08年)に南区弥永公民館で経験したことをお話されました。

弥永校区

- ・ 高度経済成長期に農村地帯が一気にマンモス団地化
- ・ この土地で生まれ育った住民と、大勢の新たな住民→「見えない確執」
- ・ 90年代半ば以降、団地での孤独死、学校の荒れなど社会問題が起きる
- ・ さらに、中国帰国者の団地居住が進む

そんな複雑で難しい状況の中、言葉の壁で孤立していた中国人についての相談を受けた公民館主事が言った言葉；「公民館にお茶を飲みに来てと伝えて。友達になるから。」

- ・ 「敷居」を低くして、「困った時に公民館に行けばどうにかなる」と思ってもらう。
- ・ 勇気を出して公民館に足を向けてくれた人を大事にする。
- ・ 公民館に来た人を独りぼっちにしない。
- ・ 日本人側の「わだかまり」や「偏見」を変えていくことと並行して、中国帰国者に対してもゆるやかに変化を促す；
→「ねえねえ、私の前で中国語を話すのは、私の悪口をいう時だけにして。」

文化祭準備で「事件」が起こり、難しい対応を迫られながらも、中国帰国者と練習を重ねステージで日中二か国語による歌を披露。公民館だよりなどで大々的に中国帰国者の活躍を取り上げ、地域文化が豊かになり、文化祭も盛り上がったことをアピールした。

2年後に再訪すると、文化祭の中国帰国者ギョウザ売店は大盛況！
ステージも盛り上がり、直会では帰国者が完全に地域になじんでいる様子が見て取れました。
「公民館は地域を変えられるんだ」と感動しましたし、その可能性と、そこで働く大人の
格好良さにしびれました。



グループでの自己紹介の時間の後、
添田先生は、この日の「到達目標」として、次の5点を掲げました。

- 1 公民館の可能性について知る。
- 2 公民館の歴史について知る。
- 3 他館に相談できる仲間を増やす。
（市職員の場合は、そのために何ができるかを考える）
- 4 学ぶ楽しさと必要性を体感する。
- 5 もっと公民館が好きになる。



添田先生は、まず、私たちに

今日この講義で資料を観る・読む際は
・今の福岡市の公民館と**違う点**
・今の公民館でも大事にしたい点
＝**持ち帰りたいフレーズ**
を意識しましょう！

と声を掛けました。

そして、社会教育法 第20条、22条で定義された現代の公民館の「目的」「事業」を確認した後、「原点を振り返りますよ」と【ナトコ映画「公民館」】を上映しました。



ナトコ映画とは…

戦後、GHQの占領政策の一環として、民間情報教育局、通称CIEの教育映画が盛んに上映された。それらは、使用されたナショナル・カンパニー社製映写機の略から「ナトコ映画」と呼ばれ、全国各地、映画館などの無い地方でも盛んに上映会が催された。

ナトコ映画「公民館」では、福島県の田舎町、飛騨の山奥、瀬戸内海の離れ小島……。日本各地に設置された新しい時代の象徴、公民館を撮影隊が訪ねて行く。集会場や地域教育の場所としての機能だけではなく、地域の風土に根ざしたもろもろの活動は、見ていて思わず引きこまれるものがある。公民館の中に美容室やパン屋が設置されている光景など、当時の知られざる文化が垣間見える1本である。

（引用元）山形国際ドキュメンタリー映画祭2009カタログ <https://www.yidff.jp/2009/cat105/09c109.html>

※【公式】月刊公民館ちゃんねる（上記二次元コード）から映画を観ることができます



続いての「原点を振り返る」ツールは、

- ① 文部次官通牒「公民館の設置運営について」1946年7月5日
- ② 寺中作雄『公民館の建設—新しい町村の文化施設—』1946年、公民館協会
- ③ 寺中作雄『公民館の経営』1947年、社会教育連合会

これらのドキュメントです。

①は「宿題」として与えられ、②③は添田先生を含め教室にいる全員で数行ずつを「輪読」しました。

輪読——。大人になってやったことありますか。これが、心に沁みるんです。人が読む声、読むスピードが、ちょうどよく沁み込んでくるんです。

「今の福岡市公民館と違う点」と「今の公民館でも大事にしたい点＝持ち帰りたいフレーズ」を意識しながら、目と耳と手で文章を読み進めます。

そしてここからグループワーク(意見交換)の開始！

インプットした情報の中から、印象に残ったフレーズをメモ帳代わりの模造紙にみんなで書き出します。

素材となったナトコ映画も寺中作雄の文書も驚くほど熱くて印象的でしたから、書き出すのと同じように話も弾みます。

さらに、模造紙の中から「明日からの指針にしたいもの」を選んで、手元のA4用紙に書き出しました。

それが…

次のページへ！



公民館は
心のより処
はやし

「ちょっと行ってみたい」
場所
明神

公民館は
灯台である
北崎
公民館 いなほが

公民館は町村と言う
自治体と一体に結びついて
おり、この施設の背後に全町
村民が控えている。
早良区地域交差点 林 木奈子

100粒の豆が
120粒の納豆になる
(一体として互いに師となり弟
となり導きあう)
西新公民館 大田夏美

「100粒の豆が
120粒の豆に
なる」
大田公民館 たききた

社会教育の場と
超越した場はな
ヒキダ

楽しみ
やまもと

公民館は鬼物ある
施設に運営され
ねばならない。
～中村きりこ～

町民と公民館に相談を持ち込み、
館の職員と集まる仲間と
相談し、町民の便利と新しいかがみ
公民館の機能を高めるのである。
成森

家庭的に
互いに師となり弟となり
導きあう相互教育
中野区新 吉(岡)

われわれのための、
われわれの力による、
われわれの文化施設
西原
あおふ

町村全体がひとつの
家庭である
東元

家庭的
Tふかた

最新版「教育百貨店」を
考える。
シャッペンボール
テーマパーク
Tふかた
生涯学習課 宇野

公民館の事業は、
町村民の要望に応じて
決定されること
必ずしも画一的な事業
ものではない。
自主的運営
清泉公民館
三浦

懇切丁寧で、
少しも官僚にか
あてはまらない。
公民館は魅力ある施設
として運営されなければならない。
西原 謙
あおふ

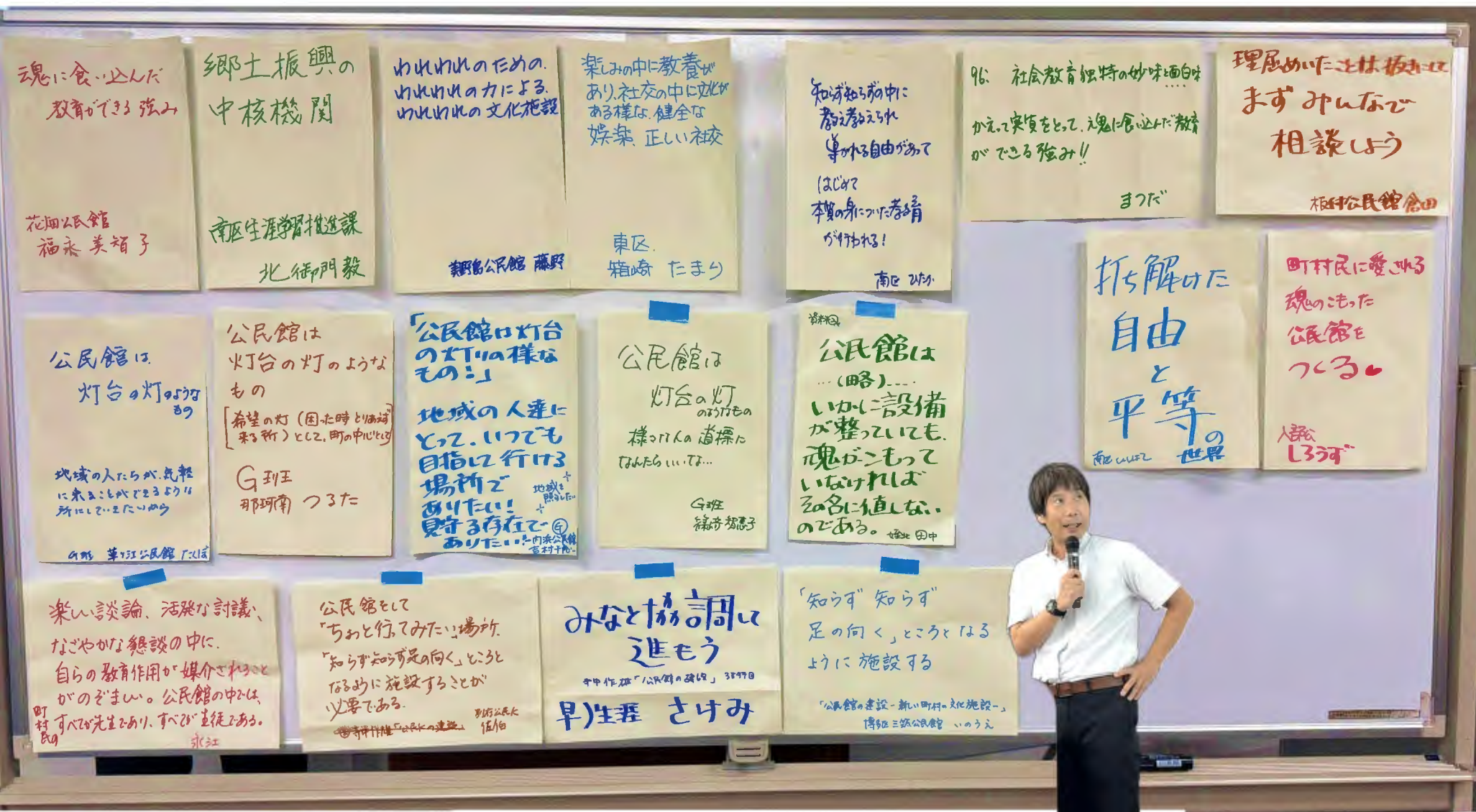
法規の命ずる以上に
町村民の要望と文化のために
すべき仕事一切を引き
受ける
ばば

町村民に愛される
魂のこもった公民館
馬出公 いわさか

みんなが、
気もあわせて働いたり、
楽しんでするための
溜り場の施設
赤坂(公)
中村

かわらばた (田島公)
われわれが是非せねばならない
魂のこもった施設
その名に値しない

公民館は町村民の
先生でありすべてが
生徒である
おおき



最後に、添田先生は私たちにこのように語り掛け、今日の講義を終えました。

今日は、公民館の歴史を、原点にさかのぼりながらみてきました。
まとめに変えて紹介したい本があります。



「公民館職員の仕事：地域の未来づくりと公民館の役割」
片野親義著、2015年、ひとなる書房

埼玉県で公民館一筋の片野さんが著した本です。
公民館で働く職員が、住民から信頼され、期待される存在となるために
欠かせないことが3点にまとめられています。

1 公民館を深く知る

- ・公民館の歴史・役割・現状・課題を認識する
- ・国や自治体の政策動向を分析する
- ・公民館の未来に確信と展望をもつ
- ・自分から仕事について学習する習慣を身につける

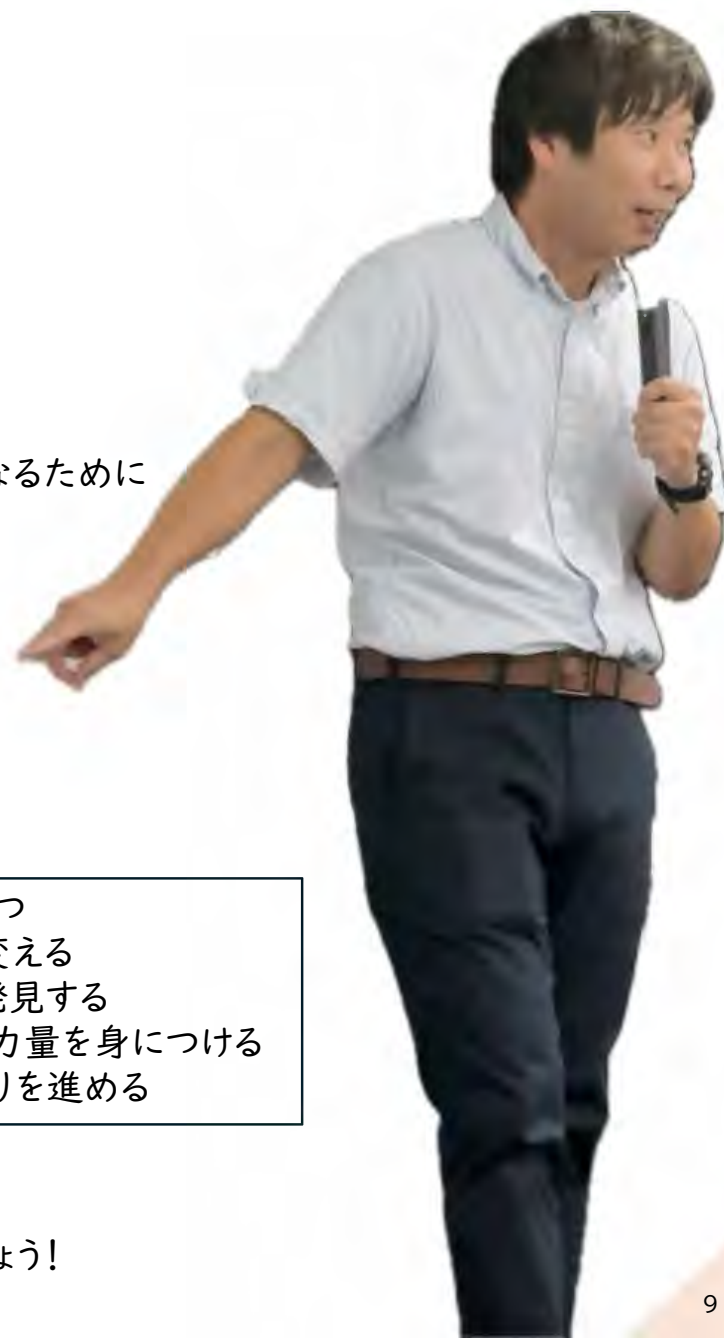
2 地域にこだわる

- ・あいさつを大切にする
- ・地域と社会をつなぐ視点をもつ
- ・地域の課題を把握する
- ・地域の課題を事業にとりあげる

3 公民館の仕事に自信と誇りを持つ

- ・公民館に対する自分の意識を変える
- ・公民館における仕事の価値を発見する
- ・公民館の仕事に必要な専門的力量を身につける
- ・何でも語りあえる職場集団づくりを進める

公民館に込められた想いを受け継ぎ、誇りをもって明日も現場に向かいましょう！



受講者の皆さんは、講義を終えて、寺中作雄にも負けない熱い感想を残しました。

戦後まもなく公民館が設立された熱い思いと、教育、人格形成、産業等幅広い目的で運営されていた情熱と歴史を感じ、その志を忘れず、時代やニーズにあった公民館を運営していきたいと思いました。

寺中作雄さんの文章はとても詩的で、また熱意が感じられました。

行政職として寺中作雄さんの熱い魂を受け継ぎ、自分に何ができるのかを日々考えながら、今後の業務に取り組んでいきたいと思います。

やっと仕事と研修の中身が繋がってきて、昨年よりは理解ができた気がします。公民館のことを改めて考える機会になります。

立ち寄りやすい公民館は、そこに勤務する人たちの人間性や専門性に拠るものが多いと思っています。今回の研修を振り返り、館内職員に伝えていきたいです。

今日もまた、心に滲みる講座でした。公民館のできた当初のことを思い、地域の現状をしっかり見て聞いてやっていきたいです。正に不易流行ですね。

資料を交代で音読するのを聞きながら自分でも黙読し、先生のコメントを聞くと、中味がよく理解できている気がしました。

公民館が戦後の国民の希望の光みたいな存在だったんだとわかったと、自分の役割がとても重要だなと感じました。一日一日を大切にして、来館者一人一人ときちんと向き合うことの大切さを感じました。

一人ひとりを当てて文章を読ませるのは、私は苦手なのでちょっと苦痛でした。順番が回って来る事に気が散って、せっかくの内容が頭に入りません。前にも読ませる先生がいらっやって、それが嫌で研修に参加するのをやめた方がいらっやいました。

弥永公民館のお話は今の公民館運営にもあてはまることなのでとても参考になりました。

公民館の立派な建物があっても、いろいろな主催事業を行っても、そこに魂が入っていないと、ただの物でありただの事であるということ。気合入りました。

公民館の原点に振り返って今を見つめ直す機会となりました。同じグループの方々ともその気持ちを共有できて良かったです。

成り立ちを学ぶことができたので、なぜこの仕事があるのかの本質がわかる良い機会でした。

公民館経営の重みを痛感しました。

歴史を知ることで、今昔の違いを感じつつも、忘れていた昔の暮らし方を今風に変えて公民館から発信提案していけるのではないかと思います。

公民館が敗戦によって希望を失った人々に光を灯し、日本の復興と民主化において重要な役割を果たしていたことを知ることができました。ナトコ映画では、公民館に多くの人々が集まり、互いに学び合う様子や、女性たちが教養の向上に高い意識を持っていたことが非常に印象的でした。

もっと自分のものになるように復習します。

寺中構想、こんなにも情熱的に心の奥から振り絞り出された声が、私の心の奥底にじんわりと落ち込んでいきました。ルールに縛られ振り回されている今の公民館運営からすると、なんと自由度のある希望に満ちたものかと感動しました。もっともっと何でもしていいんだ、と勇気をいただきました。

持ち帰りたいフレーズを書き出すというワークショップは、受講中も意識して読んだり聞いたりするので、とても良いと思いました。

自己紹介の「職場では知られていないこと」では、班の4人中2人が全く同じで驚いて話が弾みました。

グループワークは、他校区の方と交流ができるので、それだけでも刺激になります。

そして、文部次官通牒「公民館の設置運営について」を読むのが宿題になっていたのをこの紙芝居で思い出し、福岡市内あちこちの公民館から、1946年の文書を輪読する声が響き渡りましたとさ。めでたし、めでたし。

文責：教育委員会生涯学習課（兼務：市民局生涯学習課） 永田

- ・講義内容につきましては、添田先生に確認していただいておりますが、永田の理解の範囲内での記述にとどまってしまっておりますことをご了承願います。
- ・Zoomやオンデマンド配信を希望するお声は届いておりますが、申し訳ございません、この研修は「ライブでこそ！」というものです。講師の先生方もそういう思いですし、私も受講すればするほどその思いが強くなります。おそらく、受講されたかたは同意していただけるのではないのでしょうか。今回はレポートに10ページを費やしてみましたが、とても現場のよい空気を伝えられるものではございません。お忙しいのはよくわかっておりますが、一人でも多くの皆さまに、社会教育関係職員研修（基礎・応用）でお目にかかれますことを心からお待ち申し上げます。

（軽快な出囃子）
（幕が開く）



えー、お初にお目にかかります。わたくしは
社教家普つ及（しゃきようやふつきゅう）と申
します。今日はですね、福岡市の社会教育関係
職員研修を振り返る一席をと注文を受けまし
た。そりゃあお願いされたらやりますけどね、
寄席をテキストにしてもおもしろくなんかない
よ。第一、落語ってのは、声色を変えて一人何
役も演じるもんだ。文字にしようやってそれ
を表現するんだって、発注主（市役所の生涯
学習課のなんとかさんとやってやした）に聞き
ましたらね、そんなもんは適当に工夫してくれ
よだって。出た、小役人名物、丸投げですよ。
気楽なもんつすねえ。前回の紙芝居がなかなか
好評だったってんですから、それを続けておけ
ばいいものを。なんだい、自己顕示欲なのか
い？ こういうスタイルもできますよって。っ
て聞いてやりましたら、ちがいますう、ただた
だ楽しく読んでもらいたいですう、とき
だ。だったら単純な話、もっと早く、皆さんの
記憶が新しいうちにレポート上げればいいのに
ねえ。そうすれば受講した人はほうほううっ
て読んでくれますぜ。いつやったかって、去年
の11月っていうじゃありませんか。来年の話
は鬼が笑いますが、去年の話って鬼がどうなる
んですかね。泣く？ 泣くの？ じゃあまずは泣
く子をだまらせてみえようか。

（ぼんと扇子を叩く）

えーんえんえんえん。

おい、ぼうず、どうした。

岡先生から研修資料が出てこないの。

おい、泣くな。いつの研修なんだ？
今日なんだよ。

うーむ、そいつはすげえな、ぼうず。岡先生
というかたは立派なおかただよ。それだけその
日の研修資料をぎりぎりまで作りこんでるって
ことだろ？

そうなんだよ。ありものの資料で講義をせず
に、ちゃんと、状況や天候や受講者に応じて資
料をカスタマイズしてくれるんだ。日ごろから
忙しいのに、最近、日本社会教育学会ってとこ
ろの会長になってさらに忙しくなっちゃって。
ただ、何も連絡なく待たせられるんじゃない
「いつまでに出すからね」って連絡はくれるん
だけど、それが当日の朝なんだよ。

ますますすごいお人だということが分かる話
だねえ。福岡市の公民館職員はしあわせだな、
そんな人の研修を受けられるなんざ。お、ぼう
ず、ぴろりんってメールの着信音がしたぞ。
わーい、資料だ、資料が届いたぞ。これから
36ページの資料を80部印刷だーい。

ぼうず、がんばりなよ。

——ってなもんで、マクラに1段以上も使
っちゃいました。

（めくり）

■地域づくりと公民館
～館長・主事の役割の違いと協働とは～

なんだこりゃ。会場
は満員大入りじゃねえ
か。わたしもこんな大
勢の前でしゃべってみ
たいもんだよ。

まずは発注主からの
いつもの口上——社会
教育委員会議の提言の
話からその提言を行っ
た学識委員の先生方に
この研修をやっていた
だいていること——に



加えて、この日は基礎研修4回皆勤者の紹介と
きたよ。公民館職員が13人、市職員が6人。
皆勤が「えらい」から顕彰してるんじゃないっ
て、担当者として、忙しい中やりくりして皆勤
してくれたことに感謝してえんだらうな。

■真打登場～座右の銘は「風を読む」～

さて、ここのように岡先生の登場だ。アイ
スブレイクから剛速球、公民館館長・主事とし
て活かしたい「わたしの特徴」「わたしがこの
仕事をやるうえで身に付けてきたこと」、この
2点を自己分析&グループトークときた。これ
から役割に関する違いや共通点を考えていくん
だが、役割は個性あつてのもんだ、というメッ
セージじゃねえのかな。姐さん粹だねえ。あた
しや帰りだよ、いや、まだしゃべり始めだよ。



講義は「福岡市の公民館職員がたどってきた
歴史」の説明から始まった。公民館主事の身分
が一般職地方公務員（S33）、特別職公務
員（S51）、会計年度任用職員（R2）
と変わってきたことを説明する中で、岡先生
は、今日の主事が享受する社会教育に関するサ
ポート状況を「今までの蓄積と自力でどうにか
なっていたがそろそろ貯金が尽きた」と表現し
た。辛らつだが、だからこそこういう研修が大
事なんだという話だな。

そこから主題である「館長・主事の役割の違
いと協働」に迫るため、岡先生はさまざまな材
料を提示する。

- ① 社会教育法
- ② 福岡市の条例や各種の要綱
- ③ 「館長・主事お互いの役割の認識」に関す
る受講者事前アンケート
- ④ 「公民館のあるべき姿と今日的指標」（一

967年、全国公民館連合会）

⑤ 「ポストコロナ社会に向けた公民館経営論
の方向性」（2023年、荻野亮吾・岡幸
江）

⑥ 岡山市「新しい公民館づくり小委員会報
告」（2002年）

——すげえ情報量だよなあ。合間には、そも
そも公民館と他の地域施設の職員がどう違うの
かという説明もあったぜ。「住民と地域の自
立・自治を支える」「独立性を持つ」「職員が学
び続ける必要がある」公民館を語るこれらの言
葉は、ほかでは語られないものなんだぜ。

資料の①②では、館長と主事の役割の違いは
明確になっていないと断じる岡先生。でもそれ
はしょうがねえところもあるんだ、社会教育行
政ってのは四角四面じゃねえんだから。とはい
え、現場で「もう少し方向性を示してほしい」
と感じる職員が少なからずいる状況を、発注主
は理解したようだが（ちなみに、理解すること
と、なにか具体的に対応できることは別物だと
考えるのも、小役人の特徴だぜ。みんな、小役
人の味方顔にはだまされんなよ）。

③では、主事について「花形のはずなのに裏
方意識が強い」「住民の学びに伴走する色がち
よっと薄いのかも」という岡先生のコメントが
あった。みんなはどうだい？

④はちと古いんだけどよ、でも内容はまった
く色あせてないぜ。「公民館の基底にあるのは
人間尊重の精神」「核心は国民の生涯教育の体
制確立」「究極の狙いは住民自治能力の向上」、
これらの言葉が現場職員のボトムアップで紡が
れたって言うから先達はたいしたもんだよ。ここ
では、館長には「幅広く深い教養」が、主事に
は「事業に関わる専門性」が重要だと整理され
ていて、岡先生はその理由を、この文章では館
長に職員を育てる責任と最終判断者としての総
合的な見地を求める一方で、主事は日々住民か
らの相談に応じる状況が強調されているからね
と説いた。



⑤では、論文そのものは参考提示にとどめ、そのエッセンスを「地域社会を変えていくことを意識して公民館経営に臨む」、「公民館は外に向かって開かれているのだから、地域住民の声を受け止め、団体やグループとの関係性を創造（再創造）していく」ことなんだよと分かりやすく伝えてくれた。

⑥は「館長の役割が具体的に述べられているから」と引いてくれた。資質、姿勢、職員との関係、住民や行政他部局との関係など、確かに細やかな記述が目をついた。ところでなぜ岡山市で斯様に館長に特化したまとめが行われたのか。そこにはアツと驚く主事の歴史が背景にあり、——詳しいことはこの日の受講者に聞いてみてくれ。説明の放棄じゃないぜ。だいたいなあ、ちょっと愚痴らせてもらうがわたしの語りの力量ではこの講座の表面しかなぞれてないんだよ。話してて心が折れそうになるぜ。来年度はみんなリアルに参加して、真打の話を直接聞いておくれよ。

■仮想公民館のミッション策定ワーク

気を取り直して。さてここからはワークの時間だ。「ポストコロナの公民館」（2025年、大学教育出版）に収められた「公民館における館長固有の役割とは何ですか？」の問答と、島根県松江市古志原公民館の2021年経営方針を参考に、グループを仮想公民館とみなして、**使命・将来構想・R8重点目標**を策定したぜ。時間は25分。班ごとの議論の勢いのすさ



まじいこと！各班の発表資料と岡先生のコメントは次のページをご覧ください。写真は発表中の会場の様子。フェスだろこれ。

■受講者の感想

アンケートに記された受講者の皆さんの感想を紹介するぜ。ごく一部だけだな。

▼今まで余り触れられてこなかったが、これからの館運営にとっても役立つ内容だった。普段は主事の立場からしか見えていなかったことが、館長のポジションや物の捉え方を知ると公民館の見え方が俯瞰的になり、反対の立場もまた然りで、お互いを知ることですぐ上手く補完し合う関係になれたら良いなと思った。

▼館長と主事の役割は、概ね決まっていますが、公民館ごとによって変わってくると思う。主事から館長になった人もいれば、民間からという人もいるし、男性か女性かでも違ってくると思う。それによって主事の役割も少し変わってくるのかも。どこの公民館を見ても主事の負担は大きいので、未熟な私は長年勤めていらっしやる主事の方に尊敬の念が尽きない。

▼館長と主事の違いは曖昧だった。今回の研修で位置付けは理解できたが「？」と思う点もあった。

▼それぞれの役割や地域との関わり方がモヤッとしているのを再確認。それがよいのか？はつきりしない方が良い場合もあるし…。

▼最後の発表を聞いてみると、どのグループも考えておられる根っこところは同じだなと感じた。

▼行事や会議でなかなか日程の調整がつかず今年度初めての参加だったが中身の詰まった興味深い内容で参加できて良かった。

▼新任のため、とにかく全てが参考になる。参加者が話す時間もたっぷりあって、拙いながら

自分の意見や気持ちを吐き出せて良かった。

▼館長が校長なら主事は教頭だと言ったのは私。有償ボランティアの補助要員さんを職員として扱うなら、主事は教頭と言っていただけなら、主事としてのモチベーションが保たれると思った。

▼地域の人々の暮らしの課題からはじまる公民館・社会教育行政、創造性が求められる現場、「おもしろさ」があるが私にとってはまだまだ理解が難しい。引き続き学んでいきたい。

▼新任の館長や主事は「私の役目って何だろう」と悩まれることが多いと感じる。一緒に考えるヒントをたくさんもらった。

▼館長と主事の役割については分かったが、実際には館長が運営計画を立てず職員の監督もしない。そういう場合にどうすればいいのか知りたかった。

▼役割についての認識、他の人の意見を聞く、他の館長がどんなすばらしい仕事をしているのだろうかと考えてしまう。

▼研修を受けない方はもったいない。本当は館長と主事が一緒に受講して同じものを共有したほうが良い。

▼短時間で多くのことを学ぶことができるように工夫していただき感謝。活発で楽しいグループワークができた。日々の苦労やもどかしさを共有できて、自分の役割を見つめ直す良い機会になった。

▼グループワークは公民館の横のつながりづくりに貢献している。

▼3時間、内容が濃く飽きさせない研修であった。

思うに、岡先生のこの講義は壮大な問いかけなんだな。館長、主事の役割について考えるべき材料と機会をいただいた。自分の特徴や培ってきたことを振り返り、披露する時間もあった。他館の館長・主事と協力して仮想公民館のミッションを考えた。その一つひとつから、自分の公民館での自分の役割をどう見出すのか。否が応でも考えたんじゃないかな。え？役割を自覚してもそれを実践するのはむずかしいだっ

って？わかるよ。でも、岡先生もおっしゃってたじゃないか。公民館職員は「独立性」を保ちながら、「創造性」をもって「住民と地域の自立・自治を支える」んだ。そしてそのためにこれからもわたしたちは「学び続ける」。言っていることが壮大すぎて身震いしちゃうよな。でもよ、ちょっとずつでも一緒にやってこうぜ。市内だけでも150館、300人以上の仲間がいるんだし。おれも仲間に入れてくれよ。自分が語れないことを語らせるにはもってこいだぜ。落語がおもしろくないからいやだ？大目に見てくれよ。今日が生まれて初めての落語だったんだからさ。



文責…教育委員会（市民局）生涯学習課 永田
まずは今回のレポートについて。講義内容については岡先生にも確認していただいておりますが、どうしても筆者の理解の範疇での記述にとどまることがご承知お願います。

このレポート配信時には、応用研修まで含めた年間5回の研修を終えております。1年間のご参加ありがとうございました。延べ217人の皆さまにご参加いただきました。令和8年度はこの研修10年の節目です。もっと多くの館長、主事の皆さま方にお会いできますことを心待ちしております。

社協家普つ及（しゃきょうやふつきゅう）さんの画像は生成AIコパイロットが描きました。



D 公民館

① 公民館の使命
 ・地域の中で子育て＆親育ち
 ・気軽に立ち寄れる講座の工夫

② 将来構想
 ・若い世代が主役になれるような地域を目指す
 ・皆が安心して暮らせる地域

③ 重点目標
 ・世代間交流事業
 (例) スポーツ大会、ウォークラリー

C グループ

1. ミッション
 地域住民の健康を向上し、健康を増進し、心を豊かにする。

2. ビジョン
 一人が皆のために、皆が一人のために、お互いの立場と重なり、協力し合い、助け合う地域社会を目指す。

3. R8年度重点目標
 一度も公民館とつながった事がない人や公民館を知らない人が来館するような体制や事業を展開する。
 例 → コミュニティバスでの送迎、高齢者による昔の遊びの学び、ニュースポーツ、有名人の講演会(講師は市民局)その他。

B 公民館

① 使命
 「楽しい」を創造する
 (公民館職員も楽しい、参加者も楽しい、周知にスタッフも楽しい)

② 将来構想
 楽しいが伝染(つたはく)していく「やってみたら楽しい」と思える地域

③ 重点目標
 ・参加しやすい「しかけ」をつくる
 (QRコードを活用)
 ・公民館活動 → 地域活動につながる事業

あまつ公民館 A

使命 行てみたい、心に届く事業を行い、住民が足を運びやすくなる。

構想 一人ひとりがふるさとと思える地域づくり

重点目標
 ・防災意識を高める
 ・文化祭や地域祭りを通して次世代につなげる取り組み
 ・出張公民館でつながり作り

〈使命〉
 地域に暮らしのいのちと幸福
 学び
 この二つが循環する

〈構想〉
 地域に暮らしのいのちと幸福
 学び
 この二つが循環する

〈重点目標〉
 ・人権講座
 ・「循環」を理解
 ・世代間のつながりを知り、理解

① 健康と健康増進
 ② 孤立を無くす地域づくり
 ③ 健康と健康増進
 ④ 健康と健康増進
 ⑤ 健康と健康増進
 ⑥ 健康と健康増進
 ⑦ 健康と健康増進
 ⑧ 健康と健康増進
 ⑨ 健康と健康増進
 ⑩ 健康と健康増進

F-MCTM 公民館

使命 住民が楽しく暮らせる地域づくり
 始まりの場として、帰るところになる

ビジョン 住民一人ひとりの暮らしの提供とつながり、持続可能な地域

重点目標
 ・くらしの向上に必要な情報・面談の提供
 ・情報提供(パソコン、タブレット)
 ・市町村の人も、高齢の人も立ち寄る参加しやすい場
 ・参加者が自分でやってみようとする、応援、支援ある。

① 校区
 ・世帯数 5000
 ・高齢者率 30%
 ・団地が多い
 ・外国の人が増えている

② 公民館の使命
 ・人種・性別・年齢・障がいの有無など多様な人々が暮らしやすい地域となること

③ 将来構想
 ・ひとりで頑張らなくてもいい
 ・「しかけ」と言える
 ・学び続ける
 ・学びあえる
 ・自分のこととして考えること
 ・安心して住める

④ 重点目標
 ・多様な文化交流事業
 (やさしい日本語)
 ・料理教室
 ・日本語教室
 ・健康講座
 ・防災・防災講座
 ・遊びを伝える人権講座
 ・スポーツ・レクリエーション
 ・情報発信
 (多言語、いろいろなツールで)

ルール
 ハブ
 公民館

L 公民館

① 公民館の使命(ミッション)
 ・立ち寄りやすくなる
 ・気軽に行き来できる公民館

② 将来構想(ビジョン)
 ・元気で健康なまち
 ・気軽に声掛け合えるまち

③ 令和8年度の重点目標
 ・公民館を花いっぱいにして目立たせる!
 ・公民館を「よりやすらび」に作成して目立たせる!

K 公民館

① 公民館の使命
 ・楽しく来やすい公民館

② 将来構想
 ・地域住民の中から講師も集める(誰でも講師になれる)
 ・思いやりがある地域に

③ 令和8年度の重点目標
 ・地域の各種団体と連携
 ・「楽しく来やすい」を提供する
 ・「楽しく来やすい」を提供する

J 公民館では...

① 公民館の使命
 ここで暮らす誇りと歓びを持てるようにする

② 将来構想
 あらゆる世代が担う地域

③ 重点目標
 現役世代(30~50代)を公民館に立ち寄らせる

I あい公民館

① 使命
 ・職員が学び、住民の豊かな学びにつながる事業を行う
 ・どんな方でも集まる場

② ビジョン
 ・顔が見える地域

③ 重点目標
 ・現役世代の来館を促すために広報の工夫
 ・事業の拡充

わたしとあなたとが、あひあいあひあい
 I あい公民館



目標を掲げてけん引する館長の役割、
それを事業に落とし込んでいくときに力を発揮する主事の役割、
協働するのが前提で、役割の違いが見えてきたところがあるんじゃないでしょうか。

他班の発表でヒントになることもあったと思います。
積極的に持ち帰ってください。

そして、最後に大事なことは、一人ひとりの個性からつくられるもの
です。

住民も同じ。

それを活かしあう。引き出しあう。

それぞれのやり方を模索してみてください。

